

# 會 報

第 24 号



滋賀県レイカディア大学同窓会



# レイカディア讃歌

(高城修三 作詞)

- 一、近江の最中 青き湖  
ささなみ寄せる軽き音  
いつまでも尽きることなき  
その思い ともに学ばん  
さわやかに レイカディア  
レイカディア  
わがレイカディア
- 二、青垣つらね鈴鹿比良  
峰にたわむる白鳥の  
いつまでも果つることなき  
歓びを ともに遊ばん  
うるわしく レイカディア  
レイカディア  
わがレイカディア
- 三、淡海映す蒼き空  
宇宙が見せる深き貌  
いつまでも消ゆることなき  
その真実 ともに生きなん  
かぎりなく レイカディア  
レイカディア  
わがレイカディア

## 滋賀県レイカディア大学同窓会憲章

- 一、互いに助け合い、高齢者社会を生きる資質と実践力を高めよう。
- 一、心身の健康を保って、社会活動に積極的に参加し、高齢社会の支柱となって働こう。
- 一、古き良きものを伝承し、新しきを生み出して、郷土社会の健全な発展に尽くそう。
- 一、会員の研修及び母校の発展に寄与する活動を積極的、持続的に推進しよう。
- 一、社会の発展に即応する高齢者像の具現のために励みあい、提携し合う輪を内外に広めよう。

平成六年七月十一日制定

滋賀県レイカディア大学同窓会



# 同窓会活動の活性化の努力目標

1. 地域ボランティア活動および  
魅力的な幅広い事業活動を積極的に行う。
2. 支部間の交流をより一層活発に行う。
3. 組織のより一層の活性化をはかる。
4. 学校との連携および交流の強化をはかる。
5. レイカディア大学卒業生としての  
誇りと自覚を持って行動する。

## 目 次

同窓会長所感	
滋賀県レイカディア大学同窓会 会長 奥村常治郎 .....	2
『會報』第24号発刊によせて	
滋賀県レイカディア大学 学長 山田 新二 .....	3
平成19年度 同窓会本部のあゆみ .....	4
功労者表彰・受賞の喜び .....	10
長寿慶祝受賞者「わが人生一忘れ得ぬ思い出」.....	15
平成19年度 各支部の活動 .....	24
《特集》「私の暮らし、私の思い」.....	34
(近江八幡・中部・湖東) 三支部交流グラウンド・ゴルフ大会 .....	45
(特別寄稿)「強兵 <sup>つわもの</sup> どもの夢のあと」	
近江八幡支部 佐々木 尚一 .....	46
平成19年度 新入会員の紹介 .....	48
平成19年度 本部役員の紹介 .....	50
物故者を悼む .....	51
編集後記 .....	52

表紙写真：雲海に浮かぶ比良（比叡山より）〔大津支部第27期スポレク学科 森田定雄氏 提供〕



皆さん、こんにちは、お元気ですか。

滋賀県レイカディア大学同窓会 会長 奥村 常治郎

## きらっと光る存在感わが同窓会

設立25周年は“会員2千名で迎えよう”、との長年の思いは今年も残念ながら達成できませんでした。しかし、同窓会員の「建学の理念に基づいた地域活動」の実績が、各方面で認められた喜ばしい年でした。

### \* その1つは、『よおー、日本一』で全国版に

5月にNHKが放映した『よおー、日本一』で、65歳以上の方のボランティア活動が、日本一の県として本県が取り上げられました。

高齢者の42%と言う高い参加率には、レイカディア大学の存在とその役割が果たした成果は、大変大きいとの評価を得たわが母校。甲斐甲斐しく頑張っている会員さんの映像を見るにつけ、同窓生として誇らしくうれしく思ったのは、私一人ではないと思います。

### \* 2つ目は、「後期高齢者医療運営懇話会」の委員に

ご存知のとおり、来年の4月1日から75歳以上の高齢者を対象にした「後期高齢者医療制度」が発足します。この制度の運営を円滑に行うため、被保険者、医師(歯科)会、学識経験者など県下の関係各団体から推挙された委員15名による「後期高齢者医療運営懇話会」が設置され、その一員に会長が推挙されました。

われわれ高齢者にとって切実、かつ関心の高い事柄に参画する機会を、折しも25周年の節目の年に得られたことは、まことに意義深いことです。

私、個人としてもその責任の重大さを痛感しています。どんな些細な事柄でも結構ですご意見ご質問がありましたら支部長を通じてお聞かせ下さい。

## 171名の新継承者を迎える

今秋には第28期生が204名卒業し、うち171名(84%)の方が同窓会に入会しました。今年には大学創設30周年にあたり、この間、すでに4千名を超える人が卒業したにも拘わらず、“会員2千名”のハードルが高いのか、今年も未達でした。

「卒業生は全員入会」という常識が、最近では“都市化現象”という言葉で崩れようとしています。しかし、現実には、全員入会の学科もあり、この辺の事情をよく調べ、是非、目標を達成したものです。それには、「平素の支部活動が大事」を、今一度思い起こしていただきたい。

つまり「支部活動に魅せられた」会員さんは、脱会を思い留まったり、入会を勧めてくれるものです。この好循環で伝統あるすばらしい同窓会をきっちりと継承することこそ、私たちの責務です。





## 時代の移ろいとともに歩む “レイカディア大学”

滋賀県レイカディア大学 学長 山田 新二

滋賀県レイカディア大学同窓会會報24号の発刊にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

レイカディア大学は、昭和53年に設立された「滋賀県老人大学校」が前身ですが、開校以来4,100名を超える多くの方が卒業され、県下各地において、地域活動やボランティア活動に活躍されていることに、大学を運営している者として、大変心強く思っているところです。

社会は今、各方面で混迷を深めています。新聞やテレビでは連日のごとく殺人や虐待、詐欺や横領などの事件が報道されています。また、地球温暖化が原因と考えられる長梅雨の中での集中豪雨や台風による天候災害、活動期に入ったと言われている地震による災害などが多くなってまいりました。

安心していつまでも住み続けたいと思える地域づくりのためには、住民が主体となって地域住民の絆を強めるとともに、行政や団体とのパートナーシップのもと「まちづくり」を進めていくことが求められています。その担い手として、団塊の世代を始めとする中高年者の力が期待され、これらの世代の方が「まちづくり」に目を向け、主体的に関わっていただくような取り組みを推進していくことが必要です。

レイカディア大学は、この一翼を担う大学として、各地域で、自ら進んで地域活動を掘り起こし、仲間を組織し、活発な活動を展開できる人材育成を支援する場として充実することが必要であり、30期生の募集という節目の年に、文芸学科を見直し、新たに地域文化学科を設立したところであります。

この地域文化学科は、滋賀の歴史や文学、文化、自然を、フィールドワークも交えて学び、滋賀の魅力を再発見していただくとともに、先進的なまちづくりの実践現場に赴いての実践学習を通して、地域の様々な課題を発見し、その成果を地域活動に生かす力を養うことを目的としています。

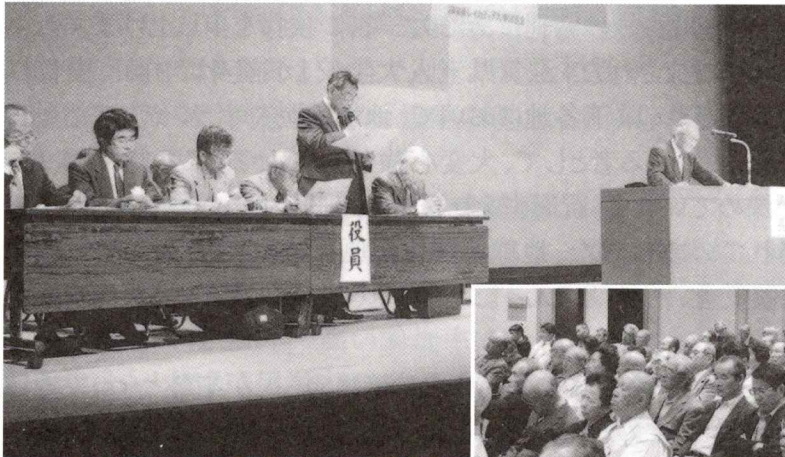
開校以来長く続いてきた文芸学科がなくなるのは寂しい限りであり、文芸学科卒業の皆さんも残念に思っておられると思いますが、レイカディア大学のあり方も時代の要請に応じ、より実学、実践的な方向を目指して、たゆまぬ改革を進めていく必要があると考えております。

レイカディア大学同窓会の皆様にも是非、時代の移ろいとともに歩むレイカディア大学のあり方についてご理解いただき、今後も、レイカディア大学の運営のためにご支援ご協力を賜われれば幸いです。

最後になりましたが、同窓会運営にご尽力いただいています関係者の皆さんに敬意を表しますとともに、同窓会の今後のますますの発展と、会員の皆さんがさらにお元気で活躍されますことを祈念いたしまして、発刊に寄せてのご挨拶といたします。

# 平成19年度 同窓会本部のあゆみ

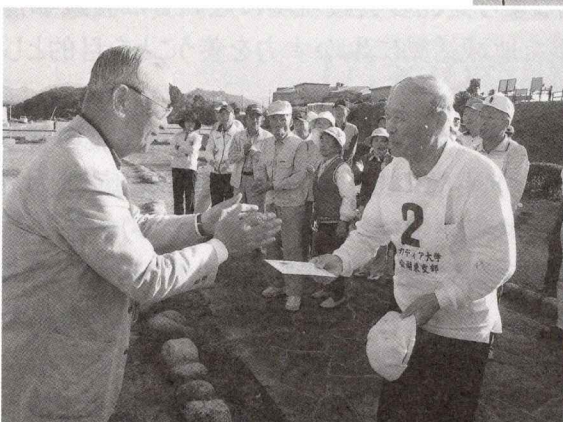
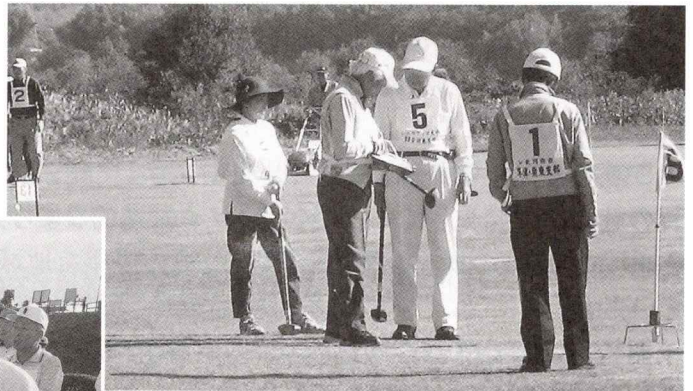
滋賀県レイカディア大学同窓会は、昨年の設立25周年を経て、本年1,945名の会員を擁し、新たな四半世紀のスタートを切りました。5月26日の本部総会にはじまり、予定の活動をそれぞれ盛況裡にすすめています。



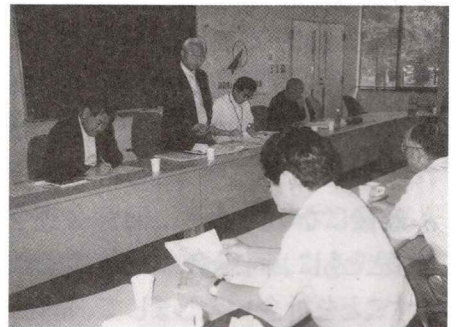
◀▼208名の会員出席のもと、同窓会活動の方向を確認しあった本部定期総会



“支部対抗”から“支部交流”に▼▶名を変えて、和やかに開催したグラウンド・ゴルフ大会



本部の運営、支部活動の情報交換など語り合う▶常任理事会は、母校（草津校）でいつも開催



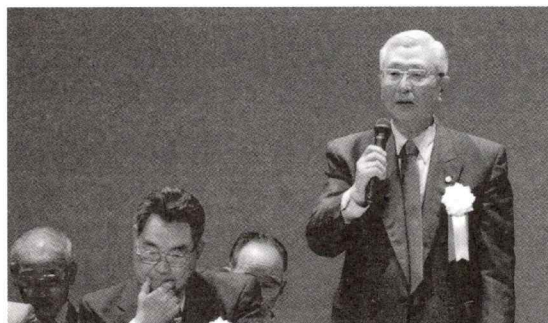


# 1 平成19年度 本部定期総会

平成19年度本部定期総会は去る5月26日、守山・野洲支部の担当で野洲市文化小劇場において開催しました。レイカディア大学の山田学長（代理）ならびに開催地の山崎市長（代理）を迎え、9支部の会員208名の出席を得て盛大な総会となりました。恒例の功労者表彰9名、長寿慶祝28名の方が受賞され、議事進行に移り提案事項は滞りなく可決、承認され、無事盛会裡に終了しました。

終了後の講演会は、守山市在住の児童文学者今関信子先生が、純真な子供の視線で、分かりやすい言葉で、自分の経験

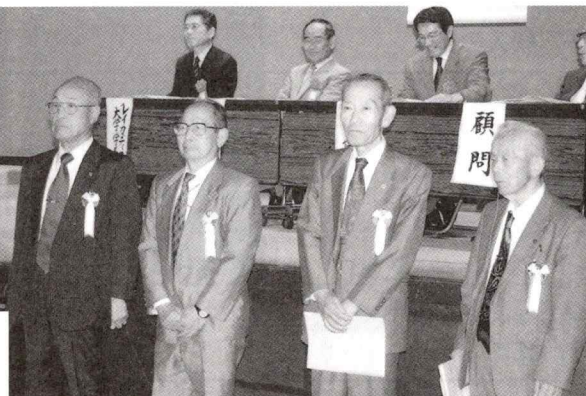
5月26日  
野洲市文化小劇場で開催



▲議案審議で応答する奥村会長

を通じての人生観を話され、聴く人に感動を与えて好評でした。

▶功労者表彰受賞の9名の方々



▲総会風景（レイ大学長代理の祝辞）

▼審議に耳を傾ける出席者



▲執筆の絵本を手にやさしく語る今関信子先生

## 1-① 平成19年度の事業計画概要

月 日	事業の概要			
5月26日	本部定期総会（野洲市・野洲文化小劇場にて）			
7月5日	合同懇談会（レイカディア大学草津校にて）			
8月9日	米原校における講座聴講と、同窓会入会説明会			
8月10日	草津校における講座聴講と、同窓会入会説明会			
10月18日	支部交流グラウンド・ゴルフ大会（栗東市野洲川運動公園にて）			
12月15日	『曾報』第24号発行			
	常任理事会の開催	第1回：4月5日	第2回：5月31日	第3回：7月5日
		第4回：11月14日	第5回：12月14日	第6回：2月7日
		第7回：3月4日		

## 1-② 平成19年度 予算

### 1. 収入の部

(単位：円)

区 分	予 算 額	摘 要
前年度繰越金	304,841	
会 費 収 入	1,386,000	700円×1,980名
合 計	1,690,841	

### 2. 支出の部

(単位：円)

区 分	予 算 額	内 訳
会 議 費	300,000	総 会 費 250,000 その他会議費 50,000
旅 費	200,000	各種会議出席者交通費
事 務 費	55,000	事務消耗品費 25,000 通信費・雑費 30,000
慶 弔 費	400,000	褒賞費、弔慰費
事 業 費	600,000	総 務 部 費 150,000 研 修 部 費 50,000 広 報 部 費 400,000
予 備 費	135,841	
合 計	1,690,841	

### 3. 特別会計基金 400,613円＋当期利息



2

## 《草津・米原 両校区合同懇談会》

## 活性化に、若手会員の発想求める

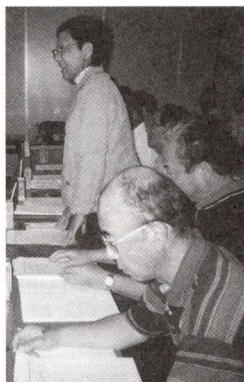
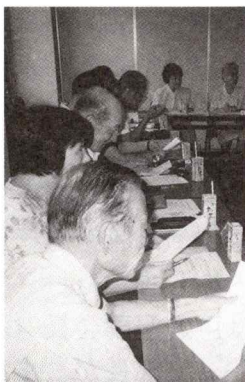
同窓会活動をマンネリ化させず、会員の皆さんの思いに沿って元気よく展開することをねがって、平成15年から会員参加の懇談会を行っています。当初は草津校、米原校の地域別に開いていましたが、昨年度からは両校区合同開催としています。

今年は7月5日にレイ大草津校で、各支部から25期以降の会員2～3名ずつ、本部役員を含めて30名が参加して開催しました。

当同窓会も設立から20数年となり、会員数も2,000名近くにまで拡大してきましたが、ややもすると設立の意義や目的についての意識もぼやけてきていないか?情報ツールなど時代の変遷に立ち遅れた活動になっていないか?活動をパワーアップさせるためには、若い会員の意見をいただき、早期に活動の中核にもなってもらうことが必要という考えに基づくものです。

当日は懇談に先立って、過日、NHKテレビで放映された『よおー、日本一』の収録ビデオを鑑賞し、わが滋賀県が高齢者のボランティア活動が日本一で、その根底にはレイカディア大学の存在が大きいとの評価に卒業生として感動と誇りを共有しました。

その後の懇談会では、同窓会のあり方や、地域活動、ボランティア活動へのかかわりに関して、期待どおり活発な意見交換がされました。



▲若手会員の懇談で、提言もいろいろ… ◇もっと市民に親しめる

同窓会に。地域の自治会活動にも積極的に参加したい。

◇レイ大卒業生の中にすぐれた発想を持ち、活動している人がいる。そんな人を講師に招き講演会をしては?

◇会員の中にも意識の乖離がある。個人意識の差、世代の差、本部・支部間にも意識の差がある。

◇自発的に臨んで2年間学んだ誇り、その間に結ばれた絆は強く、素晴らしい同窓会だと思う。

◇支部活動の予告、報告、情報交流に主点をおいた通信を年数回発行されると組織も個人も大いに参考になる。

## 全員が積極的に発言

〈主な意見を紹介します〉

◇同窓会活動は、参加すれば楽しいものだどんどん判ってくる。退会をくい止めるには、いかに活動に参加してもらうかである。

◇新会員歓迎会で、24期生が25期生を歓迎する会を行った。前期の人が次の期の人を迎え入れるように、近い関係で受け入れて行けば絆が強くなる。

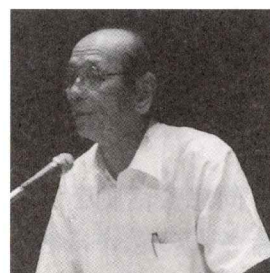
◇いろいろな活動(ボランティア活動含めて)について、情報交流をもっと盛んにすべきだ。

### 3 レイカディア大学 必須講座の聴講

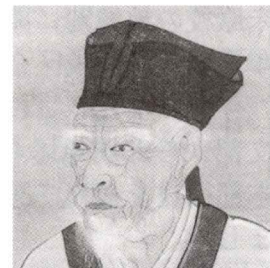
米原校（8月9日）、草津校（8月10日）で実施

地域活動やボランティアに携わる同窓会の仲間が、関連知識を得てさらに活動実践に励むことをねがって、母校の必須講座聴講をすすめています。

ことし米原校では、長浜市前助役の吉田一郎氏を講師に迎え、「黒壁のまちづくり」のテーマで、長浜市が衰退化する地場産業や商店街などに危機感を抱いた市民とともに再生のまちづくりに取り組んだ話、また草津校では、雨森芳州庵館長、平井茂彦氏を迎えて、芳州生誕地の高月町で芳州の掲げた理念を生かして、生涯学習のまちづくりをすすめている講話を聴講しました。聴講者は米原校で30名、草津校では36名が出席し、熱心に講話に耳を傾けました。



長浜市前助役  
吉田 一郎氏



儒学者 雨森 芳州 像

### 4 第28期生対象に「同窓会入会説明会」を開催

8月9日・10日、必須講座聴講の後、米原校・草津校でそれぞれに、平成19年度卒業の28期生に、同窓会の活動説明と入会案内をしました。

奥村会長のあいさつに続いて、米原校では戸之洞副会長（湖北支部長）と野上湖東支部長が、また草津校では小林守山・野洲支部長が、それぞれ本部・支部の活動を具体的に説明しました。事前配布の「會報23号（25周年記念誌）」の紹介、入会申込書の記入案内もして、ぜひ同窓の仲間に加わってもらおうことをお願いしました。

9月6日に卒業式を終えた28期生の同窓会入会率は、草津校で73%、米原校で96%と、草津校においては少々残念な結果でした。今後、会員の皆さんからも、近隣、知人でレイ大入学の方には、折にふれ同窓会入会を勧めただくよう、ご協力をお願いします。また、勧めて魅力を感じていただける同窓会活動が継続できるよう、知恵を出し合っていきたいと思ひます。

#### 支部活動の紹介

##### 1. 事業

- 定期総会の開催
- 作品展の開催
- 研修旅行の開催
- 新入会員歓迎会
- グラウンドゴルフ交流会の開催
- 支部機関紙の発行

##### 2. グループ活動

- 歩こう会
- ニュースポーツ
- グラウンドゴルフ
- 愛好会
- 趣味の会
- 絵手紙



##### 3. ボランティア活動

- GG場除草、剪定
- 花緑公園の剪定
- 芦浦観音寺の剪定
- 絵手紙教室
- ボランティアG「GAG」への参加
- その他、個人で、グループで各種

入会説明会で紹介の守山・野洲支部の活動事例



## 5 支部交流グラウンド・ゴルフ大会

# 湖東支部が連続優勝！

10月18日、スポーツの秋にふさわしい好天気。今年は野洲川べりの栗東市野洲川運動公園グラウンド・ゴルフ場（24ホール）で開催しました。今回から“支部対抗”の呼称を“支部交流”グラウンド・ゴルフ大会と変更し、支部間のより一層の交流強化と併せ会員同士の幅広い親睦を図る目的で、選手の選出方法と競技要領について改正を行いました。

総勢10チームが近江富士を眺めながら、和やかに楽しい中にも支部代表選手としての熱いゲームが展開され、成績は下表のとおりです。団体では湖東支部が連続、また個人では湖東支部の山城利之さんがそれぞれ優勝の栄誉を獲得しました。

### 団体賞

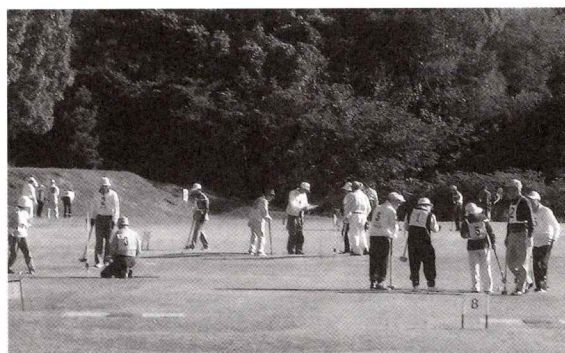
順位	支部	総打数 (上位5名)
優勝	湖東	295
準優勝	守山・野洲	300
3位	近江八幡	324
4位	草津・栗東	332
5位	中部	339
6位	大津	344
6位	湖北Ⅰ	344
8位	湖北Ⅱ	346
9位	甲賀	371
10位	高島	374

### 個人賞

順位	支部	氏名	打数
優勝	湖東	山城利之	48
準優勝	守山・野洲	岩井豊治	55
3位	近江八幡	大西一	55
4位	守山・野洲	河村利逸	57
5位	湖東	田中昭一	58



▲各支部代表選手が勢揃いしての開会式



▲「ホールインワン賞」の8番ホールでの熱戦



◀連続優勝の湖東支部チーム  
ゼッケン5は個人優勝の山城さん

# 功労者表彰・受賞の喜び

本年度定期総会における功労者表彰は、各支部から選ばれた1名ずつ、計9名の方が受賞の栄に浴されました。日ごろのご活躍の様子、今後の抱負などご寄稿ねがいました。



大津

## 支えられて迎えた今日の日

第17期 スポレク学科 高田 亮子

5月26日に催されたレイ大同窓会本部総会に出席し、議事の進行とともにいよいよ功労者の表彰となりました。最前列に席を設けていただき、大変緊張しました。

世話役としての年月は確かに長いのですが、当時の本部の佐々木会長さんや歴代の大津支部長さん方や周りの方々のご支援があって、今日の日を迎えることが出来たのです。本当にありがとうございます。一緒に勉強したスポレク米原校の方や本部役員をしていた頃にお世話に

なった方々からもご祝辞を戴き、恐縮しました。

本部の20周年記念誌発刊のときは、広報部員として何度も近江八幡へ通ったことや、グラウンドゴルフの県大会にも選手として参加させて頂いたことなど、多くの方と出会えて良い思い出になりました。同窓会のためにたいした貢献は出来ませんが、行事には率先して参加し、縁の下の方となるよう努力したいと思っています。今後ともよろしく願い申し上げます。



草津・栗東

## 命長ければ一閉話休題

第7期 文芸学科 森野 三郎

この度表彰の栄に浴し、何か一言とのお達しを受けました。同窓会活動にこれという功績も残さずに、表彰を受ける事は恐縮の至りです。同期各科の同窓の皆さんとの交流のお陰です。様々な角度から生き甲斐のヒントを戴いて、定年退職

後の幅広い満ち足りた好日を過ごして来た事に心から感謝しております。

県市段階で行政関連の職務に就く中、文化、教育、福祉、保健、税制等の各種委員会、審議会等の諸活動に役員として参加させて頂いたこと。特に老人クラブ



連合会、農協連合会、地元農協長、公民館運営審議会（会長職）文化体育振興事業団役員等々、地域社会コミュニケーションの役割プロモーターの思い出。これも老人大学2年間の成果によって同窓会活動の一環となった事と思っております。

す。

これからも同窓会の期別、専攻別の組織のあり方をネットワークとして検討されて、更なる同窓会の充実発展を祈念いたす次第です。



守山・野洲

## 功労者賞受賞の喜び

第19期 スポレク学科 山内 三代子

平成19年度本部総会にて、私ごとき者が功労賞受賞の栄に浴し、誠に身に余る光栄と恐縮し、感謝に堪えない次第でございます。支部役員をおおせつかりまして、取り立てて何も出来ない私でしたが、ただ支部事業に協力を惜しまなかっただけのことでした。

当支部も今では順調に軌道に乗っておりますことは、支部長様はじめ、役員の方々のご尽力の賜物と深く感謝し、レイ大同窓会のますますのご発展をお祈りしてお礼の言葉といたします。有難うございました。



甲賀

## 地域福祉に奔走した思い出

第17期 生活科学学科 堀江 昭一

レイ大を卒業のときに、丁度私が老人会会長をしていました。学校で習ったちぎり絵を教えてほしいと言う要望で、毎週土曜日にと、平成8年から13年の約6年間、皆と一緒にやってきました。

一番困ったことは、老人会員の人達が病院や役場に行く時、息子やその嫁に送ってもらっているとのこと。何かよい方法はないものかと考えた末、「そうだ、巡回バスさえ走らせれば解消出来る」と考えて、嘆願書を当時の町へ出そうと老人会を中心に、他の村

の老人会にも働きかけて署名運動を展開しました。その結果おかげさまで人員も集まり、当時の町長西川氏に持っていきました。約1年6ヶ月かかりましたが、やっと平成10年4月「巡回バスが走る」という通知をもらい、課題が解消出来た喜びを皆と一緒に味わい現在に至っております。

あの当時、病院や役場の方に送ってもらい、用件が済んで帰って来るまで一日は軽くつぶれてしまったことなど、なつかしく思う今日この頃です。



## 『功労者表彰』を受賞して

近江八幡

第15期 文芸学科 岩崎 進

平成4年9月、老人クラブの先輩に薦められ、草津校15期文芸科へ入学。卒業後15年経過して、月日の経つ早さに驚いています。

入学当時は大津市の厚生会館、その他諸施設を利用する場所替え授業でした。二年目になり現在の県長寿福祉センターが新設され、レイカディア大学が発足いたしました。在学中は与えられた授業には専念したつもりでしたが、今考えれば反省する事ばかりです。

卒業後同窓会へ入会し、支部地区委員、副支部長、支部長、本部副会長と、のべ9

年間会員の皆様のご支援ご協力により、何とか勤めさせて頂きました。今度の受賞も、県、支部会員の皆様のお陰と心から感謝しております。

現在は大学で習った書道、俳句等を一応復習はしておりますが満足ではありません。80の手習いとでもいいますか、健康維持のため続けたいと思っています。

終りになりましたが、県、支部の益々の発展と、会員の皆様のご健康とご多幸を祈願申し上げましてお礼とさせていただきます。



## 同窓会憲章の一隅を照らす喜び

中部

第15期 スポレク学科 萱原 登

この度はからずも功労賞を頂き感謝いたしております。今回の受賞はご関係の皆様のご温かいご支援の賜と厚くお礼を申し上げます。

振り返って、平成4年の春の叙勲で受賞の栄を受け、「皇居拝謁での陛下のお言葉」、また関係大臣の祝辞を頂き、感激と共に、心新しく生涯学習に取り組む決意をいたしました。

まずレイ大に入学し、2年間の体験を地域社会に生かすため、レイ大OBが主体となり、超高齢化社会における生涯学習の一環として高齢者向けの楽しい健康

作りを目的に、「水車クラブ」を平成14年4月に発足させました。不安の中で誕生しましたが、地域の好評を得て約6ヶ月で定員45名となり、週2回健康づくりに頑張っております。

また町教育委員会生涯課より寿大学の講師依頼や、老ク連の運動会、シルバーセンター健康づくりに、公民館文化祭等々にも出演しております。今後も「水車クラブ」が高齢者の楽しい健康づくりとして親しまれ、益々の発展を願っております。



湖東



## 受賞のよろこび

第15期 文芸学科 川並 稔男

この度はからずも功労者表彰という身に余る受賞に浴し、感激しているところです。

受賞の理由として「いきいきサロン下之郷ひまわり会」活動を取り上げて頂きましたが、どのような事でも立ち上げる事、はじめて組織を造るという事は、なかなか骨の折れる苦労のあるところでございます。今でこそ介護保険料節減のためとかいった大義名分を、国もこの「いきいきサロン活動」に託しているようですが、当時(10年前)は単なるボランティ

ア活動としての発足でした。

そしてこの組織の立ち上げは、私一人の力で出来たものではありません。私をとりまく民生・児童委員の仲間たち、字下之郷の役員各位の理解、設立発起人となっていたいただいた人たちの熱意と協力のおかげであると衷心より感謝しているものでございます。

終わりに私を育てていただいたレイカディア大学の益々の発展と同窓会の弥栄を祈念して、受賞の言葉といたします。有難うございました。



湖北

## まさかの受賞、支援に感謝

第11期 園芸学科 小林 末雄

このたびは、功労賞にふさわしい方々をさしおいて、私ごとき者が受賞の栄に浴し、誠に身に余る光栄と恐縮するとともに、感謝に堪えません。

平成2年に第11期生として園芸学科を終えて以来、10年間に及ぶ老人クラブ活動をはじめ、町教育委員12年、シルバー人材センター理事長4年、GB連盟役員6年など多岐にわたる社会奉仕活動に積極的に参加し、微力ながらそれぞれの分野において些か貢献、発展に寄与したと

自負しています。

しかし、同窓会活動においてはあまり功績のない私が功労者に選ばれたことは、まさかの感が強く、面映ゆい思いですが、同窓会憲章を念頭に実践活動したことが評価されたことと、湖北支部皆様方の温かいご支援、ご推挙の賜と深甚の謝意を表します。

今後は、健康保持に努めつつ、地域社会においてお役に立てるよう励み、報恩感謝の日々を過ごしたいと思っています。



## 支部の仲間の支援に感謝

第9期 文芸学科 熊谷 正三

歳月は流水の如くとよく言ったものです。私達卒業してから20年の歳月が流れ去りました。本当に流水の如くで、感無量です。

今回、はからずも、私ごときが功労賞にあずかり、身にあまる光栄と深く感謝し、恐縮いたしております。今回の受賞は偏に関係各位の温かき庇護とご指導ご鞭撻の賜と厚くお礼申し上げます。

昭和63年に第9期生として卒業し、同窓会に入会いたしました。入会後は長年に亘り地域役員をつとめ、その後も支部事業活動

には積極的に参加、活動して参りました。その当時会の運営上、特別会員制度ができて、参加希望の取りまとめがありましたので、率先加入、現在に至っています。

お陰様で、92歳の今日も元気で過ごさせてもらっています。老人クラブ活動等あらゆる関係行事にほとんど参加し、積極的に活動しています。今後とも健康に注意して、日々大切に過ごしたいと思います。

では同窓会の益々の発展と、会員皆様のご健康とご多幸をお祈りいたします。

### 至言名言

## 青春とは

青春とは、人生のある期間をいうのではなく、心の様相をいうのだ。すぐれた創造力、逞しき意志、燃ゆる情熱、怯懦を却ける勇猛心、安易をふりすてる冒険心、こういう様相を青春というのだ。

齢を重ねただけで人は老いない。理想を失う時にはじめて老いがくる。歳月は皮膚にしわを寄せるが、情熱を失う時に精神はしぼむ。苦悶や狐疑や、不安、恐怖、失望、こういうものこそあたかも長年月の如くに人を老いさせ、精気ある魂をも芥に帰せしめてしまう。

歳は70であろうと、16であろうと、その胸中に抱き得るものは何か。いわく「驚異への愛慕心」。空にきらめく星晨、その輝きにも似たる事物や思想に対する欽仰、事に処する剛毅な挑戦、小児の如く求めてやまぬ探求心、人生への歓喜と興味。

人は信念とともに若く、疑惑とともに老ゆる。

人は自信とともに若く、恐怖とともに老ゆる。

希望ある限り若く、失望とともに老い朽ちる。

大地より、神より、人より「美と喜び」「勇氣と壮大」、そして「偉力」の靈感を受ける限り、人の若さは失われない。

これらの靈感が絶え、悲歎の白雪が人の心の奥までも蔽いつくし、皮肉の厚氷がこれを固くとぎすに至れば、この時にこそ人は全く老いて、神の恵を乞うるほかはなくなる。

サミエル ウルマン(松永安左衛門・訳)



## 長寿慶祝受賞に際して

## わが人生—忘れ得ぬ思い出

めでたく百寿をお迎いの宇野よしゑ様と、米寿をお迎いの27名の方に、総会席上で長寿のお祝品が贈られました。過ぎ来し方を振り返り、忘れ得ぬ思い出をご披露いただきました。

## 百寿

生きのひと<sup>コト</sup>齣

近江八幡支部 第2期 生活科学学科 宇野よしゑ

今ここに百歳——感慨無量。想いは深く懐かしく、また楽し。さて、その最たるものは——。

- 白樺<sup>シラカバ</sup>の風<sup>ウツ</sup>に現<sup>ウツ</sup>しみ委ねつつ  
富士の岨<sup>ソバミチ</sup>道馬の背にゆく
- 永劫にそびえて止まむアルプスの

銀嶺かたえに今佇ちつくす  
さて21世紀の幕明け—歴史的瞬間の体験。

- 二千年の真澄の空のまほろばに

飛龍舞ひたちきらめき激し

- 新世紀の瑞光めでたく押し照りて  
老いのころのときめき止まず

今——。

- 百歳<sup>モトセ</sup>の脳細胞を引きおこし  
こころ新たに残り火燃やさむ  
心のオアシス求め一歩でも前進。歩んでこそ道。心に年令はない筈。これからも……。

## 米寿



## 日々のご縁を大切に

大津支部 第15期 文芸学科 木村 キミ

平成19年度の総会にお招きにあずかり、お祝いまでいただき、ありがとうございます。総会の後の今関信子先生の、「み

んなみんなつながって」のお話、とても身近なお話で感動しました。

多くの同世代の方々で出席できない人

も多いと聞き、元気に参加できたことに感謝したいと思います。

私の米寿までの道のりは、いろいろございました。今は独り身の気軽さで、家にもらずに、極力外に出かけるように心

がけています。これからも、「日々是好日」の思いで、一日一日のご縁を大切に生きたいと願っています。

最後に、同窓会のみなさまのご健勝をお祈りします。



## 米寿、自分でもびっくり！

草津・栗東支部 第7期 文芸学科 大原なつ子

思いがけず米寿のお祝いをいただきありがとうございます。老大にお世話になり、知らぬ間に年月を経て、今更ながら自分の年齢にびっくりしております。

日赤三重支部を卒業。昭和15年救護看護婦として応召。旅順で働きましたが結核に感染し内還。山田赤十字病院に勤務しました。結婚し草津に住みましたので、

すっかり草津の人間になりました。

老大での2年間、文芸学科の生活は本当に楽しい思い出になりました。思いがけず米寿のお祝いをいただいたことに感謝し、これからも健康第一の思いを新たにしました。もう少し生きられそうです。頑張りたいと思います。



## 戦争体験同期の桜の励まし合い

草津・栗東支部 第18期 生活科学学科 加藤 吉男

昭和16年海軍通信学校卒業。電信兵となる。戦争中、生死をかけた戦いは、陸戦隊で上陸作戦と空からの対航空機、海上の作戦をそれぞれ体験をしている。

19年、南支那海南太平洋海域での船団護衛作戦。9月に重油、ガソリンを積んだ艦船が米国の潜水艦に魚雷攻撃を受けて沈没。火の海となった海に飛び込んだ。竹の筏にすがり火の海を抜けるが、負傷した者は力つき海

中に沈んで行った。漂流して10時間後、駆逐艦が救助に来たとたんに敵潜水艦に攻撃を受け轟沈してしまった。

これで終わりか!同期の富井君と励まし合いながら、不安の中、死を待つ漂流が夜になる。海防艦が救助に来た。戦死者が多く水葬式をして死体は海中へ。残った者は少数。一昼夜の海中の戦いを励まし合って生き残った。毎年9月に電話で感謝の語り合いをしている。





## 母を慕う

守山・野洲支部 第11期 生活科学学科 小林 いち

1920年、実家の長女として生を享け、曾祖父母、祖父母、父母の大家族の中で育てられました。曾祖父はきびしい人で、私達姉妹が不作法であると母が叱られるので、常に“行儀よく”を心がけました。

例えば朝、私達が食事の時に曾祖父母が別室から仏間に行かれると、「おじいさんおばあさんお早うさん。お先に頂いています」と私達姉妹は大きい声で言うの

です。にこやかに返事をして二人は先祖様に朝のお詣りをされるのです。

一番多い時は12人の家族でした。母の苦労は大変だったと思います。その母は94歳まで元気で、最後はくも膜下出血で何の苦しみもなく10時間後に父の所へ行きました。その母を目標に私は今、生かされています。



## 悲史、インパール作戦を綴る

守山・野洲支部 第18期 陶芸学科 津田 正澄

昭和15年に満20歳になった自分は、当時、国民の義務として、大日本帝国陸軍軍人となり、中国の南京の部隊に入隊した。

昭和18年に、ビルマ国からインド国アッサム州に進み、インパール作戦に参加した。この作戦は戦史にも稀な、極めて悲惨な負け方をしたことで有名である。苦しみの中に白骨街道を経験し、10名の中で8名までが戦死したのである。

いま自分はその様子を戦記に書き残したので、読みたい方は申し出て下さい。自分はこの経験を通して、平和を望み命を国に捧げた戦友の様子を世に伝えるの

である。戦争はしてはならない。平和を愛することを世に訴えるのである。世界の平和を希望してこの文を綴る。

(津田への連絡先：

〒524-0212 守山市服部町)





## この道一筋

甲賀支部 第7期 陶芸学科 谷 信一

戦後苦しい生活の中、衣料品の小売業を開業して以来38年余り、斯業を通じて地元住民の消費生活向上に貢献しようと、永年にわたり商業協同組合に25年、石部町商工会に33年間、滋賀県商工会連合会等々の要職を歴任いたしました。

昭和34年から石部町の議会議員に選ばれ、7期28年間無事務めることが出来ました。昭和59年にこの道一筋ということ で黄綬褒章を受章いたしました。また平

成4年には天皇陛下より勲五等双光旭日章の榮譽に浴しました。これも皆様のお陰と感謝しています。

石部町の社会福祉協議会の会長も、平成19年5月で無事退任しました。これからも健康に注意し、地域社会のために頑張っていきたいと思っています。

今回は長寿のお祝いありがとうございます。



## 石ころ

甲賀支部 第8期 園芸学科 福島 安男

老いをしみじみ味わいながら、人生最後の日々を送っている我々年代の者なら、まず太平洋戦争の事を思い出します。

昭和16年に徴兵検査、17年1月入隊し軍人教育を受ける。一軍人となるよりも一人の人間となる教育を受けました。22歳の生意気ざかりで世間知らず、加えて礼儀も分からぬ者を、軍隊式で骨抜きにされるのです。

駆足、鉄棒、飯抜きは当たり前。

ビンタも毎度のこと。こうして山から川へ流れ急流にもまれ、頭を打ち足を折り、尻をたたかれ角のない石ころとなります。一日の行事が終わり、点呼が済み床に入ると、なんだか泣けて参ります。家の事や家族の顔を思い浮かべ、いつしか眠りに着きます。

角の多くついていた私も、きれいな石ころとなりました。楽しい余生を送りたいものです。





## グラウンドゴルフとその仲間

甲賀支部 第12期 文芸学科 北村 里

この度は、米寿を祝っていただき有難うございました。長い人生を経て、忘れ得ぬ思い出は沢山あります。戦争に関わる悲しい思い出です。これからは生き甲斐を感じる思い出づくりに頑張りたいと思います。

私には、長年続いている思い出があります。グラウンドゴルフと、その仲間の人達の事です。20人足らずのクラブで、

65歳から95歳の年齢層の中で毎日練習をしています。和を大切に、打率の競争も励みになります。休憩をしながら、今朝見た新聞記事や健康の事、時には、行って見てきたかの様に、あの世の話をする人もいて話題はつきません。

平凡でどこにでもある日々ですが、長年積み重ねた絆と友情は、きっと、忘れ得ぬ思い出となります。



## 労苦の日々を生きぬいて

中部支部 第10期 生活科学学科 平井 光子

去る5月26日、定期総会において米寿の祝賀をして頂きまして、誠に有難うございました。

振り返る私の人生、太平洋戦争の最中、農家に嫁いで2年目、主人は召集令状が届き戦地へ出征されたのです。そして昭和20年、終戦の年、比島にて戦死の悲報を受取りました。

あとに残された主人の父と3歳の幼い息子と私の3人は、農事に明け暮れの毎日。当時の農業は大変でしたが、皆様方のお陰で生産を続けることができました。

その後、義父も亡くなり本当に大変な日々でした。

今年88歳、よくも長生きさせて頂いて心から有難く思っております。

レイ大には友人に誘われて入学し、色々勉強をさせてもらいお友達もたくさん出来ました。今は当時を懐かしく思い出しております。

この頃は、ゲートボールにも参加し、また畑仕事も野菜づくりに精を出し、楽しい一日一日を過ごしております。



## 懐かしい米原校

湖北支部 第12期 スポレク学科 飯田志加恵

平成元年9月、第12期生として主人と二人揃って米原校へ入学。美しい琵琶湖を見ながら通学しましたが、今は無き主人は園芸学科、私はスポレク。草川先生の熱心な御指導のもと楽しく勉強し、ねんりんピックびわこ、レイカディア県民大会に参加し、他校の友と交流してダンスに、体操に、折り紙等次々に学んだこ

とが浮かんできます。

今日元気で暮らせるのもスポレクのお陰、今も早朝ラジオ体操等行っています。続けることが大切。

この度は長寿の御祝いを頂き心より厚く御礼申し上げます。皆々様いつまでもお元気で。



## 三人の母に

湖北支部 第12期 文芸学科 金森 嵩

過日結構なる米寿のお祝いを戴き、早速に仏壇へ供えました。母三人の位牌にです。私には三人の母がありました。実の母に義母二人なのです。私が某家の三男として生まれて間もなく父が他界したので、親友だった金森の父が見兼ねて私を貰い受け育ててくれたのです。

瘡できで、ミルクの嫌いな私には苦労したと聞きました。その義母が私の4歳の時面疔で亡くなり、その後来られた母もわが子以上に可愛がってくれました。度々肺炎になり「20歳まではもつまい」と言われた私を、5年半も従軍し得た体にしてくれた母の愛情が身に沁みます。

字も余り書けない人でしたが、勉強には喧しく、内職をしながら明るく育ててくれた三人の偉大なる母へ感謝し、改めて冥福を祈りたいと思います。







## 地 獄 で 仏

湖北支部 第13期 スポレク学科 田部 芳造

私は昭和15年徴集の現役兵として入隊、北支は准陰付近の警備に当たっていましたところ、中原会戦が始まりこれに参加しました。毎日炎天下の行軍がつづき、身体の弱い私は熱射病で倒れ危うく一命を落とすところ、幸い野戦病院に収容され難を逃れることが出来ました。

そこの担当軍医は私の町の医師で、私がお世話になっていた先生でした。ある

日呼ばれ「君の身体では軍務は無理であるから日本に帰り、養生して元気な身体になり、元の公務員で社会の為に貢献するように」と説得され、結局私は内地送還、現役免除となりました。地獄で仏とはこのことだと実感しました。幸い長寿を保ち、米寿を祝えたのはこの先生のおかげです。以上忘れ得ぬ我が人生の一齣でした。



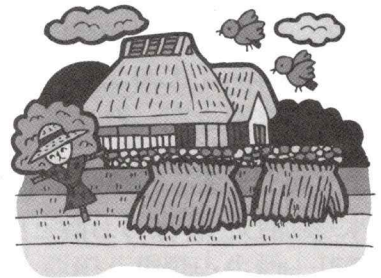
## シベリヤ抑留

湖北支部 第17期 文芸学科 角田 武雄

昭和20年8月、満州寧安にてソ聯軍の参戦により一路新京へ、新京から安東へと、安東にて武装解除され奉天へ。奉天にて作業大隊が編成され、黒河から鉄舟橋を渡ってブラゴエシチェンスクに。それからシベリヤ鉄道を西に向かってウランウデまで。そこから徒歩と、貨物自動車に乗せられて山道を輸送させられ、着いた所は囚人達が収容されていた所とのこと。

狭い二段式ではあるが、大勢が寝るのは大変であった。作業も寒さが厳しい故、零下25℃以下は室内待機で、それまでは

作業に。道中、耳や鼻、眉が白くなる事が多々ある。冬場食料も輸送がとどえる事が多々あり、塩水と大根で凌ぐことも多かった。よくぞここまで生かされたものをつくづく思う。



湖北支部 第13期 スポレク学科 富田 愛子

この度は米寿のお祝いを頂き誠に有難うございました。

母も最近年令と共に、自分の体さえ思う様に動けず、家族の世話になっている

ような毎日ですので、とてもペンを取る様な元気も無く、御希望にそえず誠に申し訳なくお許し下さい。

(家族代筆 富田百合子)

湖北支部 第16期 生活科学学科 山本佐代子

米寿の御祝いをいただきありがとうございます。ございました。

数ヶ月前に脳内出血のため病院に入っ

ておりまして、退院後も通院しております。とても文章を書くことは無理ですので、よろしくお願い致します。

湖北支部 第16期 生活科学学科 谷口 和子

この度は、私如き者に結構な八十八歳の御祝いを頂き、誠に有難う御座いました。

6月始めより病院通いを始めることになりました。たいした病気でもないと思っておりましたが、なかなか、熱も下

がらず食事もあり通りません。

頭もボーとして、とても原稿を書く気力もなくなりました。誠に申しわけなく存じますが、どうぞお許し下さい。



## 私の近況

高島支部 第9期 生活科学学科 上原 ゆり

この度、米寿のお祝いを頂き有難うございました。慶祝を受け、一層の感謝の念と、長寿の喜びを実感しました。

日頃これといった健康づくりはしていませんが、元気に暮らせることの喜びに、そして毎日を楽しく、趣味や老人クラブの事業に参加し、皆様のお陰と感謝しております。またお寺参りに出かけることも出

来、ご先祖様のお陰と喜んでおります。

私は、9期生であります。老犬に通学しました2年間は私にとって、生涯忘れることの出来ないことであり、クラス仲間との文通や語らいが、楽しい思い出として残っております。これから、身体も弱ってきますが、健康に気をつけて、頑張っていきたいと思っております。



## 健康回復へ、日々歩行運動

高島支部 第10期 文芸学科 饗庭 健治

この度は米寿のお祝いを頂き、有難うございました。厚くお礼申し上げます。

車に乗っている間は、ゲートボール、グラウンドゴルフ、手品等、あちこちに出かけましたが、2年ほど前に急に身体の調子が悪くなり、一人で立つことができない状態となったこともありました。

その後は、健康を維持するには少しでもそれに叶うようにと、歩く運動を取り入れて毎日実行しています。

家族は、長男夫婦と私達夫婦の4人が同居で暮らしています。なお孫3人とひ孫3人が時々訪ねてくれるので、楽しみに待っています。



## “楽しかったレイ大の2年間”

高島支部 第12期 生活科学学科 弘部 ふみ

友達のお誘いを頂いて“老人大学”の名に惹かれて、思わず入学に同意してしまいました。滋賀県の「北海道」と言われながら、あまり外へ出かける機会もなく、忙しく過ごしておりましたが、これ幸いと家族の理解を得て、小鳥が飛び立つ思いで入学したのです。

お友達の範囲も広く、子供の頃と違って親しみ深く、本当に楽しかった2年間

でした。この歳になっても友達の輪が広く、心賑やかに過ごせる幸せをしみじみと感謝しております。

高島からの同期生は4人おりましたが、今は私一人になってしまいました。亡くなった友達の分の元気を頂いて、何とか頑張りたいと思っております。どうぞよろしくご指導をお願い致します。米寿のお祝い本当にありがとうございます。

本年度の長寿慶祝受賞者のうち、7名の方からは諸事情で原稿が頂戴できませんでした。お名前のみご紹介します。

支部	氏名	学科	卒期
大津	河本 健司	文芸	17期
草津・栗東	伊藤 重一	文芸	12期

支部	氏名	学科	卒期
守山・野洲	近藤 愛子	文芸	11期
甲賀	福島新一郎	園芸	6期
中部	森 キミ	生活	3期
中部	凶司 恒雄	園芸	12期
湖北	西田八重野	生活	15期

●2007年●

# 各支部の活動

## ◎ 大津支部の活動

### 大津支部のチャレンジ

大津支部では、平成19年度は5部会を中心に新しい事業、運営にも進化を求めて歩み続けました。そして、多彩な事業が開花し始めましたので、交通整理も必要となり、支部事業と自主運営の同好会事業に分けて動きました。また、4地域(副支部長管轄)の独自の活動も積極的になり、それを支援するため、役員会の中で、30分程度の地域ミーティングも実施しています。

各部会とも、アンケートなどを取り、多様な要求を持つ会員の声をベースに新しい試みに積極的に挑戦し、それなりの成果を生んだ年となりました。



▲大津まつり曳山巡行にボランティア参加

### 充実して来た各部会の活動

幾つかの事例をあげますと、新設の「ボランティア部」は10月1日に、去年に続いて、新入生歓迎会の日に「ボランティア交流会」を実施し、4つのボランティアグループが実例報告をしました。これは、とても感動的な内容で、それを聞いた新入会員の感想で、「支部活動の活発さがよく分かった。なんにもやってないよとの風評を聞いたことがあるが、自分の仲間に今日の状況をしっかり伝えます。」

と迫力ある言葉に、感動しました。そして、外部のボランティア活動に、支部として参加する方式も生まれ、大津まつりへの大津支部としての参加、浜大津の「琵琶湖岸の清掃奉仕」にも支部で有志を募り参加しました。

「健康部」も「ディスコン」を地域持ち回り方式で、第2回まで実施しましたし、人気が復活しましたボウリング大会も今年度、新たに実施します。

「研修部」も「公共施設見



学バスセミナー」を昨年に続いて、今年から抽選方式でしたが、幸運を引き当て、予定通り7月に実施しました。

「文化部」も活発な動きを示し、マジック、川柳、絵手紙の3サークルを軌道にのせ、10月20日に実施された「天津市生涯学習フェスティバル」では、このマジックサークルの2人が、習いたてのマジックを舞台上で披露する活躍をみせました。

「広報部」も年三回発行の条件は同じですが、より多くの方の投稿を募るため、募集活動をきめ細かく行い、増ページを果たし、文芸欄を強化して、より親しみやすい紙面作りに挑戦し続けています。

今年度の追加事業として、パソコンに強い方に世話役をお願いし、7月から「レイカ大津・パソコン情報交換会」の準備に入り、9月から月1回の研修会を立ち上げました。

左の大津支部のポスターは5部会の活動を軸に製作し、10月20日の天津市生涯学習フェスティバルで発表したものです。以上、大津支部の新しい動きを中心に、紹介させていただきました。



設立の目的

# レイカ大津

支部長 岡崎 一郎

本会は滋賀県レイカティア大学(旧老人大学)を卒業した大津市内在住者が、会員相互の親睦を図るとともに、地域活動に積極的に参加協力し、大津市に貢献することを目的としています。

健康部

グラウンドゴルフ交流大会  
操帆島GG場 2007.9.10



## 活動紹介

文化部



18年度 レイカ大津作品展  
生涯学習センター 2007.3.20~22

研修部



北茨震災記念公園・研修旅行 2007.9.21

ボランティア部



ボランティア交流会  
老人福祉センター 2007.10.1

広報部



会員間のコミュニケーション誌

《生涯学習・社会貢献を目指す各種事業》

約250人の会員が趣味・研究会などの交流により、お互いの健康増進と自己研鑽を基に、ボランティア活動などの社会貢献をしています。

★主な事業は次の通りです。

- ・健康部：各種スポーツ活動(グラウンドゴルフ大会、デイスコン大会など)
- ・文化部：作品展、各種サークル活動(絵手紙、マジック、川柳)、囲碁大会など
- ・研修部：研修旅行、講演会
- ・ボランティア部：ボランティア交流会、各種地域ボランティア活動への参加
- ・広報部：会報年3回発行

その他：新年会、パソコン情報交換会など

知識と活動力の団体として見守ってください・・・





## ◎ 草津・栗東支部の活動

# 高まっているボランティア参加意識

### 「第28期新入会員歓迎懇談会」開催

草津・栗東支部では、ことし新入会員27名を迎えました。10月11日には草津第二公民館で「第28期新入会員歓迎懇談会」を開催。新会員20名の参加を得て、和やかに語り合いました。

懇談で感じましたのは、20期前後の卒業生では卒業後に同好会、クラブ、サークルに入会される方が殆どでしたが、近年の傾向として在学中から加入され、大半の方は進路を決めておられます。また、複数の加入が目立ち、前向きで積極的な姿勢が際立っています。

特に今後の活動としてボランティアの重視が目立ち、大学で学んだ延長で、また、就学以外の分野での活躍に目標をか

かけておられるのは、さすがボランティア日本一の滋賀ならではの感服した次第です。

近年、レイカディア大学での授業が各学科を問わずボランティア推進教育に傾注されている事を肌で感じ、各自が豊かな奉仕精神を備えておられ、教育の大切さを痛感しました。

従来は同期、同学科の横でのつながりが強固で、ややもすると縦のつながりが希薄でしたが、今は卒業時にあって縦のつながりを持つ方も多く喜ばしい限りです。

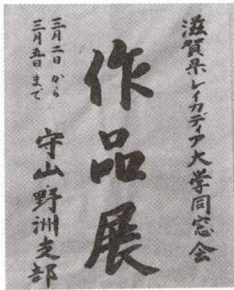
Eメール保有者が入会者の62%を占め、年々増加傾向にあることに時の流れを感じます。



新入会員の皆様方には、先輩卒業生の方々と共に“たくさん好奇心を持ち”“たくさん笑い”、楽しい人生を享受できるものと確信しております。



## 守山・野洲支部の活動



▲シニアの力作

### 充実した 「第9回作品展」ひらく

守山図書館で4日間開催。書、陶芸、絵画、写真、寄せ植え、手芸など力作111点が見事に並び、特別展示の「ヒマラヤの山々と子供達」と題した写真も人気を集めた。



▲作品展を終えて

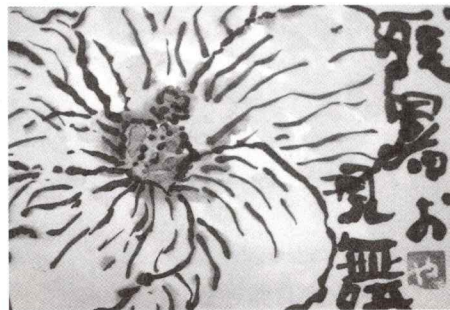
来客者304名の方々には1点ずつじっくり鑑賞して頂き、その対応に大わらわ。来客の大半が誰々さんの知り合い、趣味仲間、団塊の世代と思われる人、など大変楽しい、また充実の支部行事であった。

### 趣味の会「絵手紙教室」

平成16年秋に少人数でスタート。その後一般の方の参加もあり、今年から毎月1回、和やかに熱心に開催中。一番の関心は、同窓会の支部行事に参加でき難い先輩方に絵手紙による「暑中お見舞い」「新年のご挨拶」でご機嫌伺いと敬意を表していること。当支部の年中行事として今後も大事に育て続けたいと願っている。この作業には同窓会員でない教室の方々に協力を頂き、大変有難く本紙面を借り御礼申し上げます。



▲一生懸命です



◀こんな絵手紙を送ります



## 甲賀支部の活動



▲好天下、グラウンド・ゴルフを楽しみました。

### ○支部グラウンド・ゴルフ大会

甲賀支部においては本年7月6日、会員26名参加のもと、水口野洲川グラウンド・ゴルフ場で、平成19年度第1回の大会を開催しました。

### ○一日研修旅行

10月3日、会員27名参加のもと、天の橋立と舞鶴引揚記念館へ研修旅行をしました。天の橋立で楽しく昼食をとり、懇親を深めました。



▲天の橋立をバックに……



▲新入会員歓迎会

### ○新入会員歓迎会を開催

11月2日、藤栄神社(水口町)社務所を借用して、甲賀支部の新入会員歓迎会を開催しました。28期卒の新入会員9名を含め38名が出席して、支部の運営方針や活動を説明し、昼食を含めて和やかに歓談しました。



## ◎ 近江八幡支部の活動



▲第2回G・G大会に参加した仲間

### ②第28期生新入会員歓迎会

9月20日、ひまわり館ホールで53名の参加を得て開催。支部役員の紹介、新入



会員紹介の後意見交換を行い、和やかな歓談のうちに散会した。

### ④研修旅行

快晴の10月24日、30名が三重県名阪健康ランドを訪れ、観劇と温泉浴で心身ともにリフレッシュした。帰路には甲賀忍術屋敷も見学した。



▲ホッコリ、ニッコリの研修旅行

### ①支部グラウンド・ゴルフ大会

7月4日と9月28日、今年も2回のグラウンド・ゴルフ大会を開催。会場はいずれも近江八幡市何合（なんごう）G・G場で。第1回は小雨の中34名が熱戦を展開した。また第2回は、本部大会出場選手の選考もかねて、38名が白熱したプレーを展開した。

10月18日の本部大会では力量を発揮し、3位入賞を果たした。



### ③卒業生成果展

10月4～6日、ひまわり館ホールで、出展者56名の作品133点を集めて開催した。期間中、151名が鑑賞。10月4日にはHOTTVの取材を受け、同日夕刻放映された。特徴として、26期以降の同窓会新人層の出展が多いことを心強く感じた。



▲昨年行ったニュー・スポーツ大会の一コマ

### ▼手芸教室のもよう



### ◎今後の予定

11月28日 文化講演会  
12月上旬 手芸教室  
20年2月 ニュー・スポーツ大会



## 中部支部の活動

### ① 多彩な企画で定期総会にぎわう

多くの会員が集う総会を楽しく盛り上げようと、今年の支部定期総会は「私の作品」一品展、レクダンス、ナツメロサロンなどを織り込み、出席者66名のにぎやかな交流をはかりました。

### ② 一日バスの旅、飛鳥を訪ねる

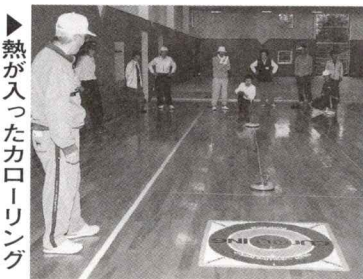
今年は歴史探訪ツアーを企画し、5月29日、律令国家発祥の地飛鳥を訪ねました。参加者25名と少なかったのは残念でしたが、橘寺、石舞台、飛鳥資料館など巡って、古代の香りを満喫しました。



◀ 現地Vガイドの説明を聞く(川原寺跡)

### ④ 今年も「軽スポーツ三種競技大会」

昨年も行った“三種”競技大会ですが、今年は種目を屋内ペタンク、カローリング、スマイルボウリングに変えて、11月14日に開催しました。24名が参加して、地域ミックスのチーム対抗で、技と集中力を競いました。



▶ 熱が入ったカローリング

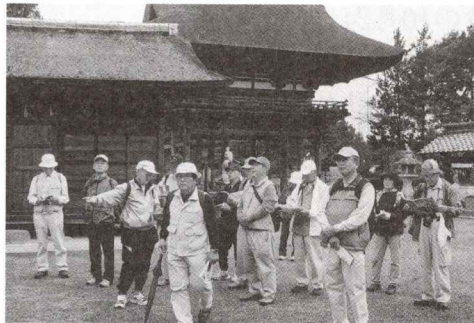


▲ 整理体操はレクダンスで



### ③ 竜王町の歴史探訪“歩こう会”

10月9日、雨上がりの好日、21名が万葉の歴史が息づく竜王町を訪ねて、妹背の里～苗村神社～ドラゴンハットの往復約9kmを、地元でVガイドもされている華園分会長の案内で散策しました。



◀ 国宝・重要文化財が多い古社苗村神社にて

### ⑤ グラウンド・ゴルフ大会

恒例の支部グラウンド・ゴルフ大会も、9月12日に開催。59名の参加者が好天のもと32ホールのプレーを楽しみました。



## ◎ 湖東支部の活動

### \* 平成19年度定期総会



▲小林龍男さんの講演

5月8日、彦根勤労福祉会館で開催。定例議事後「激動の昭和を生きて」と題する講演を90歳の同窓生小林龍男さんにして頂きました。その後懇親会。



▲力作揃う会場

### \* 作品展

7月6～8日、彦根市民会館ギャラリーにて。出展者46名。書、絵画、写真、手工芸、盆栽、陶芸、短歌、俳句等出展60点。来場者120名。



▲みんなでレクダンス

### \* 新会員歓迎懇親会

9月21日、甲良町一休庵にて。出展57名、新会員の自己紹介の後、みんなでレクダンス、同窓生有志による舞踊とマジックを楽しみ、会食懇談。

### \* グラウンド・ゴルフ大会 (9月25日) ——本部大会でも連勝

秋晴れの彦根市荒神山G G場に45名が集合、ベテランから初心者まで楽しくプレイ。優勝は若松實さん(スポ20期)。この日の上位者で編成した代表チームは支部交流大会で団体連続優勝と個人優勝を成し遂げました。

### \* 史跡探訪研修会(9月30日)

築城400年祭で賑わう彦根城周辺を探訪。最初に昼食、次に開国記念館、馬屋、博物館を観た後2班に別れ、健脚組は城山から玄宮園へ。もう1組は玄宮園からまちなか博物館。新会員の綾木さんがボランティアガイドをしてくれ、知ってるようで知らない彦根城を再認識した次第。



▲博物館前に集合して

## ○ 湖北支部の活動

### ★第1回スポーツフェスティバルの開催

3月14日(水)長浜市民体育館でスポーツの祭典を行いました。足腰を鍛えて自らの健康管理に役立てようと130名もの会員が集い、参加者全員でクロリティー、カローリング、ユニカール、ディスクコンのニュースポーツ4種目を体験し、最後はレクダンスで締めくくりました。



▲ディスクコンを楽しむ風景

### ★第8回支部グラウンド・ゴルフ大会

9月19日(水)94名の会員が集い熱戦を繰り広げました。本部大会への派遣選手の選考も兼ねており、上位入賞者12名を派遣することになりました。



▲映像に見入る会員

### ★研修旅行は京都洛南・宇治方面へ

10月2日(火)66名の会員が参加して研修旅行を行いました。最初に源氏物語ミュージアムで、平安文化の風俗や物語を理解した後、黄檗山萬福寺に参拝して、中国から伝来の禅宗黄檗文化と普茶料理に舌鼓をうち、最後は世界遺産にも登録され、前日に平成大修理が完成したばかりの宇治平等院で、古都文化財の一部に触れることが出来た有意義な研修旅行でした。

### ○ 今 後 の 予 定

11/21~22

第1回成果展の開催

11/15 会報「こほく」第13号の発刊

3/1 「こほくのかわら版」第4号の発刊

3/中旬

第2回スポーツフェスティバルの開催



▲スポレク出身者が指導的役割を担っている湖北レクダンスの集いがありました。



## ◎ 高島支部の活動

★支部総会：5月19日（土）午前11時より新旭町「鶴亀」料亭にて。28名参加。奥村会長もご臨席。総会后、和やかに懇親会。送迎バスで。会費4,000円。



和やかに！  
お酒を酌み交わし、互いの健康を喜び合い、レイ大に対する熱い思いを語りあいました。



### ★第9回支部グラウンド・ゴルフ交流大会

9月26日、新旭町「ほおじろ荘」ゴルフ場で。参加者18名。秋晴れの好天に恵まれて！和気あいあいと、楽しいひと時でした！



優勝	大江 利雄さん	(第11期)	文芸学科
準優勝	中村 公一さん	(第25期)	陶芸学科
第三位	青谷 修さん	(第25期)	園芸学科



### ★新会員歓迎会

9月26日、支部のグラウンド・ゴルフ大会終了後、「ほおじろ荘」で新会員2名を含めて開催。お茶で乾杯、楽しく歓談。新会員（第28期生）は5名ですが、まだ仕事に就かれています方もおられたり、地域の行事、クラブの行事等と重なって参加できなかったようです。

### 第1回作品展

- 日時：平成19年2月20日（火）～21日（木）、10時～17時
- 場所：新旭町コミセン「ほおじろ荘」
- 応募作品数146点、応募会員44名、来場者148名

支部として初めての作品展で、作品がどのくらい集まるのか、来場者はどのくらいとかいろいろ不安でしたが、上記のように、支部会員が70名の小さな支部ですが、63%の会員が応募、来場者も市長をはじめ約150名で大成功。



◀力作ぞろい！

第2回作品展予定 日時：平成20年2月29日（金）～3月2日（日） 場所：新旭町コミセン「ほおじろ荘」

## 《特集》

# 私の暮らし、私の思い

人生総仕上げの年代を、悔いなく最良に生きようと、志高く、レイカディア大学に学んだ同窓生の皆さん。多くの方々が、地域リーダーとして、ボランティアとして、多彩な活動をされています。各支部を代表して24人の方に、日ごろのこと、お考えのことなどを寄稿いただきました。



### 思い出

大津支部 第7期 生活科学学科  
本郷 武子

雨上がりの庭先にピンクの大きなさるすべりの花がフワリフワリと風にゆれて咲いています。両手で握りしめたい様な気持ちになります。久し振りの雨で植木は生き生きとしております。

縁側でのんびりと大空を仰いでおりますと、ゆるやかに流れている雲に、身体が付いて行く様な気持ちになります。

かすりの着物に小巾のかすりの前掛、えんじのしぼりの帯のお三尺を締めた小さな女の子。90年前を思い出します。

白のエプロン姿で日の丸の小旗を振りながら、軍用列車の通過を見送りに行きました。皆が一生懸命に送らせてもらいました。92歳の老婆になりました。お國の為に戦死して下さった皆様ありがとうございました。

なつかしいあの頃の思い出、元気な頃の思い出、センチになりました。当時の風景が浮かんで来ます。



### 高齢に生きる

大津支部 第7期 陶芸学科  
桑田 二郎

人生50年と言ったのは遠い昔の話。

私は子供の頃、80歳の老人は近所では見かけなかった。とは申せ、私は大正4年1月生まれの今年92歳6ヶ月となり、とてつもない長い人生を送っています。

今は親しかった友人知人は「お先に失礼」とぼつりぼつりとこの世を去って、一人取り残されたような身になりました。

そこで今まで余りに掛けなかった今の暮らしや、長寿の意味を折にふれ考えるようになりました。

今更自明の理でもありませんが、今日80歳を越えてなお元気潑刺として活動されている方々の生活の実態を知ると、皆さん共通しているのは、「バランスの良い食事」「常に自分にふさわしい働きをつづけている」「家族が和合している」の3点のようでありました。所詮、長寿は進歩した医学や福祉制度によってもたらされただけのものではありません。

要は自分を長く支えてくれた一切の森羅万象のご恩と出会った多くの方々から



頂いたご厚意により、今日の自分があることを、謙虚に感謝する気持ちの大切さを、改めて思い知らされている今日この頃です。

もしこれを忘れたら、長寿をむさぼる豚のそれにも等しいと言われるかも知れません。

今日は夕刻散歩にでて、近くの神社に参り、“今日一日ありがとうございます”と手を合わせて拝礼し帰途につきます。



### — ところ変われば —

草津・粟東支部 第17期 文芸学科  
楢本 光雄

社用で3年程香港へ行ったが、<sup>カントン</sup>広東語は漢字を書けばほぼ通ぶる筈だったが意味の違いも多く、茶飲み話として一端を綴ってみた。

広東語で「面白人」と書くと日本語訳では『美人』となり「怪我」は『年上の云う事きかぬ人』だ。「勉強」は『いやいや行う動作』となる。日本で「勉強せい」と云えば負けられまへんと商売用語になる。「<sup>セツファンメイアー</sup>食飯未呀」は『今晚は』の意だが御飯は済んだかの意。

日本でも礼儀として使われるのが京都で食事時の来訪者にぶぶ漬けでもどないどすかが思い当たる。<sup>ツネイベンネイ</sup>「隨便襦」は襦があなただから意味深に見えるが『そうですね』程の事。広東語で好きな言葉に「再見」がある。『<sup>ツネイ</sup>さよなら』だが『お休み又ね』の意もあり、音感に親愛の情溢れ心に余韻が残る。北京語が事務的な東京弁なら広東語はさしづめ京訛を含めた関西弁と云えるか。洋の東西は異なってもアジアは一つ。

漢字は日中間のかけ橋だし楽しい発見もある。注釈：爾は現在略され尔。広東語では你と書く。爾は天皇勅語であなた等に使われている。日中同意のあかし。



### 日々の楽しみごと

草津・粟東支部 第23期 スポレク学科  
小泉 一夫

最近午前7時公園に出かけている。折からの朝日を浴びて、木々の葉っぱにキラキラ水滴が光っている。子ども達があちこちから一人二人と集まって来る。眠そうな目をした子もいるけれど、ほとんどの子は元気がいい。「おはよう」と声をかけるとおはようと返って来る。「にこっ」と笑った顔が実に爽やかである。なんとも言えない満ち足りた気持ちになる。充実した一刻を過ごせる喜びを感じる。そうです。朝のラジオ体操の一コマです。

昔から子は宝と言うが、孫は遠くに居て一緒にラジオ体操を楽しむことは出来ませんが、地域の子ども達と一緒にラジオ体操に参加し、子ども達から命のエネルギーを頂いている所です。

先日、知人から静岡に掛け流しのいい温泉があると聞き、温泉好きの私達夫婦は早速出掛けました。川根温泉です。車で行こうと地図を調べ、行くまでに結構楽しむことが出来ました。温泉は実に良いお湯でしたが、もう一つ大きなおまけを見つけました。大井川鉄道のSL列車が目の前を走って行きました。思わず裸であることも忘れ手を振りました。今度は是非孫を連れて行こうと楽しみが増えました。



## レイカグリーンの効用

草津・栗東支部 第27期 園芸学科  
杉江 龍雄

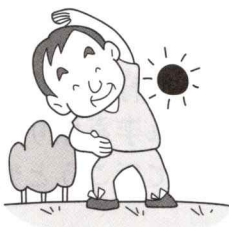
園芸学科27期生、25名の友達が互いに助け合いエーカッコしています。私の檀家寺の植木の剪定を3名の同級生と1名の現役生で……6月に1回、7月に1回やりました。「この木はどんな形に」「三脚は脚が正三角形に開くとするか」「体を木にくくりつけ」等々、互いに注意しながら一人前の植木屋さんになったつもりで働いた。

住職さん、大黒さん（関東では坊守りさんと言わずダイコクさんと言う）に、10時のおやつ、3時のアイスクリーム、気を使ってもらった。この時だけが一人前の職人さん？……定年を過ぎてから同じ教室で学んだ仲間だ。大変良い付き合いである。

昼食は近くの草津脇本陣で、日替わりメニューの「うどん定食」。うどんをすすりながら3年前に始めた盆栽菊の話に華が咲く。

盆栽菊の鉢づくり、庭園の植栽づくりに共通するものがあるのではないか……。

樹木の剪定の勉強、互いに切磋琢磨の連続。3時30分から5時までの剪定後の木くずのかたづけ、これは本職さん以上に気を付けて美しく。この精神でレイカグリーン頑張りたい。



## 私の生きがい

守山・野洲支部 第9期 生活科学学科  
山本 てる

人間は生きる限り誰でも年を重ね、そして老いていく。健康で活動できる間に、何かをしたいと……そんなある日「老人大学」の入学を耳にし、何も知らない私は早速申込みました。家事をしながら二年間通学出来る事を心に誓い休むことなく無事に習得。その時すぐにボランティア協会に入会。

- 現在保育園児との交流会を年2回（大正琴を持参して歌をうたったり琴の音色を体験したり）施設へは要請があれば出向いて行く（仲間があり協力下さる方に感謝しております。）
- 家に居る時間は、好きなことにチャレンジ。自由な生活をしている私を家族は見守り続けてくれています。この幸せを少しでも社会にお返ししたくて。
- 定期的に施設を訪問、在学中に学んだ福祉関係一般教養を入所者と勉強出来る幸せを感謝する毎日です。



## ささやかな社会参加

守山・野洲支部 第25期 園芸学科  
三輪 章

平成13年2月、40数年精励<sup>かくきん</sup>恪勤した会社を定年退職してはや7年目を迎える。

定年後の生き方として「心豊かな清貧の世界」を志としながら、日常の生活指針として「心身の健康」「絆」「学び」「ゆとり」「社会貢献」の5項目を意識しながら日常生活を過ごして来た。



その中で、最も苦労したのが「社会貢献」をどう実践するか……であったが、幸いにしてボランティア活動に出会い、今では充実した日々を過ごしている。

老人介護の福祉施設で「健康で老いる」事の重要性を学び、障害を持つ人々への支援ボランティアを通じ、見る・話す・聞く・歩く事が何の不自由もなく出来る自分に、そっと神が「感謝」の心を教えてくれる。

子細あって、親から離れて施設で生活している子供との交流で「輝く瞳」と出会い「元気で老いる」願いが膨らむ。

小さな善意の灯と共に歩んだボランティア活動、私の「ささやかな社会参加」である。



### 私のライフワーク

甲賀支部 第20期 文芸学科  
奥嶋 寛

私は勤務当時から二種兼業で、定年退職後も若干増反して土地の特質を生かし、餅栽培や環境こだわり米でおいしいお米だと励まされ生産に励んでいます。昔の農業を経験して来た私は、耕地整理や水利の向上に努め、今日機械化された農業は健康的で楽しい仕事なのですが、地元では農業後継者は無く、私達の世代の引退が地域環境に及ぼす影響の大きい事が心配です。

それは、農業者が道路の土手や河川の土手の草刈など、年三度以上清掃し、ボランティアとしての役割を果たしているからです。昨今、県では地域まるごと保全事業が進められ、補助金がらみの取組みで、郷土を皆んなで保全しようとの主

旨には賛同出来るのですが、実質補助金だけに目を向けている今の世代に淋しい気が致します。

公を重視して来た古い世代から見て、例えば赤十字、赤い羽根、緑の羽根、助け合いやイベントの募金にも「強制ではありませんが」と前置きして頼まれる熱意に疑問を感じ乍ら、これくらいの事は気持ちよくさせていただこうと話しております。70余歳のんびりともせず盆栽、庭木剪定、グラウンドゴルフ又書道にと趣味に溺れんばかりの毎日を過ごしています。



### 雑 感

甲賀支部 第21期 園芸学科  
川奈部四郎

最近とみに思うのは、自分自身の老い・加齢についてである。私自身60歳代後半から70歳代にかけて、足腰の筋肉痛・狭心症・白内障・難聴等が現れ通院治療を余儀なくされている。また5人兄弟で、既に3人の兄姉が亡くなり、上の大阪に住む兄もパーキンソン氏病・高血圧症・糖尿病を患い2級障害者と認定され入院生活を送っており、心細い限りである。私自身去年秋に不意に狭心症の発作が起こり始めて死を予感し愕然とした。その時、人間70歳を過ぎれば年令の順番に死ぬのではなく、どの順番に亡くなくても不思議ではないと実感した。又新聞の死亡欄を注目する様になったが、残された余生をプラス思考で安静・治療に専念し決して粗末に生きないで老妻と2人明るく頑張っ生きていこうと思っている。



## 私の一日の 過ごし方雑感

近江八幡支部 第19期 生活科学学科  
園田 花子

退職したら「あれもしよう、これも…」といろいろな策をねっていたことが、実際はどれ程むつかしいことか思い知らされる今日この頃です。私たちの町では、過去何十年続いている神社と町会館の掃除を老人クラブが受け持っていますが、これは月に2回町内の皆さんとの親睦を深める唯一の活動です。

この他にバス旅行で西国三十三ヶ所巡拝を寺の壇家で企画され、今年は三ヶ寺だけ参加させて頂きました。初めは行楽気分楽しんでいましたが、仏前では心洗われる思いに浸るひとときがありました。年齢を重ねる度に自分の心の中を見つめなおすよい機会に出合えたと思っています。

近所の方々と出会うと「年をとると体のあちこちが痛くて……」という話を聞きます。一日一日を大切に健康保持につとめることがどんなに難しいと思われ知らされる毎日です。高齢者になると「もうあかんわ」とあきらめないでその日、その日を自分の体に合った仕事と趣味を楽しみたいと存じます。無理をせずに行きたいことを実行することの難しさを勉強しながら日々を送りたいと思います。



## 高齢者の生きがい

近江八幡支部 第20期 生活科学学科  
大西 一

レイカディア大学で学習後「あ～よかった」で終わるのではなく、学んだことを地域で活かし一人一人が輪になってつながり、地域活性化に結びつけるよう努力する必要があります。

みなさんレイカディア大学は一つです。明るく楽しく元気よく頑張りましょう。高齢者が生き生きと人間らしく暮らすには健康第一です。

健康とは、心、体、社会のバランスで成り立っています。生活習慣を見直すことも大切です。動いていますか、足、手、目、好きなことをしていますか、笑っていますか、笑う門（体）には福来ると云います。大いに笑って下さい。

私の好きな言葉を記します。チャーミング（魅力的な生き方）チャレンジ（新しいことへの挑戦）チェンジ（発想の転換）です。

人間のあるべき姿とは人の和、心のふれあいをつうじて愛の心を持つことです。残念ながら私達は大切な愛の心を、ともしれば忘れていく傾向がいろんな面に出ています。この課題を解決するのに全員が素直に考える必要があると思います。県、市病院のボランティア活動とグラウンドゴルフのお世話に追われつつも、第二の人生を生き生き楽しく頑張っています。





## 趣味に遊ぶ熟年生活

近江八幡支部 第26期 文芸学科  
岡田 定一

職を退いた65歳の秋、文芸学科に入学、楽しい2年間を過ごしました。それまでに自治会長、神社の氏子総代など地域の役職を勤め終え、農地も経営委託しましたので、現在は気ままな年金生活者です。レイ大の同期会ではクラス会、グラウンドゴルフ、レクダンスなどに参加し、短歌、書道の教室も継続しています、また地元の公民館でも書道と冠句の会に入れていただき、今年からは冠句の選者（宗匠）も勤めています。奉仕の関係ではYMCAと地域に奉仕する団体Y'sメンズクラブの古くからのメンバーとして教育キャンプ場の整備、全国視覚障害者駅伝の支援、びわ湖の菖菀り、乳児院の樹木の剪定などに参加。地元のグループ加茂町桜守りの会を主宰しています。

ボケ防止と称しての麻雀（週1～2回夜）、健康維持のためと称してのゴルフ（月1～2回）も楽しんでいます。しかし、老母と老犬が居るため夫婦での旅行はできません。その時が来るまで、夫婦ともども健康で居られることを願っています。

○老母の世話妻に任せて趣味に遊ぶ  
われのくらしを妻に責めらる 定一



## 草の根の眩き

中部支部 第20期 園芸学科  
隅田 二郎

今年の梅雨は大型台風が接近するやら、新潟県中越沖地震が発生するやら、多大

な被害に遭遇された皆様に対し心からお見舞い申し上げます。

私事ですが当地に転居以来、地域の皆様には「ふれあい」で色々ご指導を頂き、花緑公園のボランティア、シルバー人材センター、レイ大同窓会会員と名を連ねさせて頂きながら、さしたる活躍もなく今日に至っている。

さて先日台風の後、湖岸清掃に参加させて頂いて驚いたのは、水辺に打ち上げられた夥しいゴミの山である。マザーレイク琵琶湖が泣いている様に思われた。「美しい国」日本も程遠いと思う。皆んなで環境保護に努め、頑張らなければと思った。

私も近所に畑を借りているが、ささやかながら草取りも機械に頼らず、農薬も最小限に止めている。環境保護に「貧者の一灯」となるかと思い、自転車を踏みしめ歩行者に注意して毎日過ごしている。勿論自分の体は自分で守り、一日一日を大切に出来ることからこつこつと、焦らずゆっくりと。



## 歩く楽しみ

中部支部 第21期 園芸学科  
糠 信男

1,047,525歩、これは私の本年上期の散歩実績です。体調不良や家事、交際のため散歩できない日を除いて163日、一日当たり6,426歩という結果です。

私は、朝方の高血圧症で早朝の出歩きは避け、大体、夕方に安土山麓から考古博物館、文芸の郷方面をいろいろコースを変え、野山の四季の移ろいや田圃に舞い降りる野鳥、畦に咲く野草などを観察しながら歩き、また、桜の開花時期に思

いつきカメラで定点撮影を試みたりしております。中でも田面を前景に冬は遠く比叡山、夏は比良山に大きな円を描いて沈む夕日の光景は何か神々しさを覚え、無事の日を感謝しています。

歩きの効用は、いまさら語ることもありませんが、よく『1日、1万歩』と言われます。しかし、寄る年なみも考え無理をせずマイペースで約1時間日課のように、まさに「晴歩雨歩」です。そのうちにすれ違う歩き友達もでき、しばし立ち話も弾みます。

お陰さまで今では歩きに行けない日は何か損をしたような気持ちになり、このまま習慣として歩き続けたいと思っています。



## 私の“暮らしと その思い”

中部支部 第23期 園芸学科  
紅谷 昌宏

今、木工で作った振り時計が、左右に振れながら“時”を刻んでいる。“光陰矢の如し”で今年古希の節目を通過した。

レイ大を卒業し早や5年になる。「人間50年、下天のうちをくらぶれば、夢幻の如くなり」と織田信長が謡い舞ってから450年、日本の平均寿命は82歳、世界一長寿の国に。寿命は“神のみぞ知る”であるが、時間の経過尺度は「365日を自分の年齢で割った数値」で表せるように思う。

“人と趣味との出会い”好奇心をもってポジティブに「戸籍年齢」から「機能年齢」にシフトし朝型人間に変身、「早起き三文の得」と毎朝3時半頃から始動している。木工・陶芸、山野草弄り、読書、

音楽、絵画（トールペイントも）、スポーツ、旅行、JCMU・姉妹都市との国際交流、文化催事を通し“嚶鳴”を楽しんでいる。家内は水墨画教室を開催し水墨画一筋に取り組んでいる。

人生80年時代の“今”郷里・氷見との往来生活のなかで、インターネットを駆使し、知的生活へのリフレッシュを心がけて「シニア・ライフ」の充実に、“生きがい”「夢・中・人」である。



## 私 と 瓢 箆

湖東支部 第19期 文芸学科  
川副 郁夫

4・5年前、私は尾道を訪れたことがあります。同級会に出席するためでした。その時、幹事の友人が皆んなを案内して志賀直哉の書斎と住家を見学させてくれました。偉大な文豪にしてはまことに質素な建物でした。それでも瀬戸内海が一望出来る絶好の小高い山腹に立地していて、作家の生活には打ってつけだなと感服したものです。

陳列してある多くの作品の中に、当時この辺りで興味をそそったであろうと想像される直哉の小さな作文が目につきました。それは私が毎年、作品化している瓢箆を題材にした「清兵衛と瓢箆」なる短い一文だったのです。

このストーリーは清兵衛と云う少年が他の事は全く無関心だが、こと瓢箆となると夢中になり瓢箆を求めて来ては昼夜を分かつたず手入れを怠らず、立派な作品に仕上げていたが両親には叱られ、学校の教師にも理解してもらえず、唯独りで黙々と製作に打込んでいた所、その一品



が骨董屋に流れて遂には清兵衛の作品が、当時としては想像も出来ない高値で売られる結果となった。けれども清兵衛はどうしたことか瓢箪作製を取り止め方向転換して絵描きに熱中して行ったと云うところで終わっています。

大正2年1月の作品ですから時代も随分変わっていますが、その頃が偲ばれて面白いと思われます。今、私は趣味として瓢箪に取り組んで居まして、なおこれからも一層努力して行きたいと、願って居ります。



### 趣味を生かして

湖東支部 第20期 文芸学科  
小玉 徳承

私は表記の通り、20期生文芸学科を卒業して同期が会い寄り、「みずうみ」の歌会を月1回開いて短歌を発表している。それも8年を過ぎ、一人当たり670首を越す。そのほかに書道を習い100枚前後の作品が残る。

しかし万年学生で、秀作は5作品のみである。私はそれで良いと満足している。歌を詠み、それを書く時間は趣味の境地になり、自画自賛になれるのは何よりも愉快である。時に文芸学科も変わって自作の短歌、自作の書を認める時間も少なくなるようだが、本県でも短歌人口は400人程度あるので歌会を先輩に聞いて入会されればよい。

今の世相廢墟にばかり付き合っているのは仕方がない。世相廢墟の時こそ余計に歌に、書に美しい、かわいい、いとしい。将又、力強い筆勢で現した作品が、読者として鑑賞者としてよろこばれて来るのである。ちょうど新聞の三面記事を読み、

よい歌を読めば私達の心を和ませるのである。あり触れた言葉で終始したかも知れないけれども、脂肪過多のご馳走ばかり食べていては病になると思う。歳を重ねるこのごろ趣味を生かした生活をしたものだとつくづく思う。



### 高齢者の役割について

湖東支部 第26期 生活科学学科  
阿藤市太郎

日本人の平均寿命は今や女性85.8歳、男性79.0歳となった。高齢者が増え続け国は頭の痛いことであろうが、高齢者個人にとっては「長くなった老後を如何に生きるか」が最重要課題となった。ある新聞を読んでいたら“今私達老人に期待されていること”として5点が挙げられていた。

①健康である老人、②社会参加(奉仕)する老人、③生活の知恵を伝え生かす老人、④良い悪いがはっきり言える老人、⑤世代間交流に努める老人。これを読み、これって私達がレイカディア大学で、「すこやかに活力ある長寿社会実現のために、高齢者自らが学び、持てる力を更に磨き、社会参加や地域づくりにおける担い手としてその役割を果たす」という趣旨で学んできたことそのものである。

それらしいことの何も出来ていない私だが、たゞあの悲惨な戦争経験世代の一人として平和の大切さ、共に支え合う存在としての他者への感謝の心、この心が貧しければ物的豊かさの中にあっても人は決して幸せになれないこと等を、せめて子や孫にしっかり語り伝える役割は果たしていきたい。



## これからの高齢者像

湖北支部 第21期 生活科学学科  
武藤 実

私は今75歳、不本意ながら後期高齢者の仲間入りとなりました。思えばいろいろな苦難の思い出はありますが、その試練が逆に肥やしとなりここまで成長させ、神さまに生かされて来たことに感謝しています。そして私のこれからも、感謝のうちに静かに、いつ終わるとも知れない終焉に向かって歩いていくことでしょう。

一方、団塊の波がついに高齢社会に打ち寄せてきました。豊かな生活を求めて、ガムシャラに働いていたかつての壮年が、競争社会から急に離れて、高齢社会に仲間入りしてこられる時代となりました。競争社会はかつての戦国時代と同じ弱肉強食の世界です。この世界から本来の人間性を取り戻し、強弱共存の生活に早くなじみ、人間的な本当の喜びを得てもらいたいものと思います。そのために有効な手段が「レイカディア大学」ではないでしょうか。今までに得た体験を生かしつつ、新たな知識習得と新たな友との巡り合わせは、また新鮮な第二の人生の幕開けとなります。これからの高齢者に、先輩としてこの喜びを伝えたいものです。



## ボランティア活動へのためらい

湖北支部 第23期 文芸学科  
森川 栄壽

今から8年前、退職してレイカディア大学に入学する前の頃である。永く染みついた会社人体質から地域住民の体質に

脱皮しようと思案を巡らせていたが、色々抵抗があり家にこもって不完全燃焼の日々を送っていた。

そんな時に自分の心理を見透かす様な印象的講演に出会った。その講演を要約すると、ボランティア活動を行うに当たって、

1. 売名行為と言われようが大いに結構
  2. 三日坊主に終わってもいいじゃん
  3. 自己満足（ひとりよがり）何が悪い
- といった、いささか乱暴かつ逆説的なものであった。しかし帰宅してよく考えてみると、自分が踏み切れずに逡巡している障壁を破れと示唆していると気がついたのである。

即ち退役した自分が、未だ世間の風評を気にするあまり、地域住民として一兵卒の心境で挑戦？することをためらっていたのではあるまいか。

現在各種のボランティア活動に加わり、新しい人脈の中での日々。少しは地域住民に脱皮したかなと思うこの頃である。



## 誠子書との出会い

湖北支部 第24期 園芸学科  
西岡 孝士

「静以修身儉以養徳澹泊明志寧靜致遠」親戚の法事に招かれたとき「静」と大書した下に漢詩を書いた軸が掛けてあった。草書体で半分くらい読めなくて主人に尋ねると、中国旅行の時に買ったもので、実はこの場に合った内容かと少し気に掛けていたとのこと。

読める熟語をキーワードにインターネットで検索して貰うと、諸葛孔明が自分の子に書き残した「夫君子之行」で始まる誠子書と判明し、“優れた人は静かに



身を修め徳を養う、無欲で無ければ志を貫き通せず、寧靜で無ければ大きな任務に耐えられない”と言う意味で、最後には「年與時馳意與日去遂成枯落多不接世悲窮盧守將復何及」つまり“時の経つのは早くすぐ歳をとり、気力も体力も衰えて世間から遠ざかる。そうってから慌てても今さら元には戻れない”と書いてあったので、良い掛け軸と判って互いにひと安心。

故人を介して仏縁を結ぶ機会とも言われる法事での巡り合わせに感謝。どれだけ高度な医学でも老いは止められぬ事を認識し、上手に地域社会と関わりながら、スローダウンで健やかに加齢したいと改めて思った次第です。



### 公人の責務を果たす

湖北支部 第25期 生活科学学科  
山口 忠義

定年後の生き方のスキルになればとの思いで、レイカディア大学生生活科学学科に入学しましたが、長浜市連合自治会長として、折からの市町村合併問題に真剣に取り組み、在学中でしたが長浜市議会議員選挙に出馬することとなり、皆様のご支援により現在2期目になります。

こうして公人と言うことになると、自分なりに思っていた我が儘な生き方は許されなくなりましたが、勿論不満があるわけではなく、自分の持てるもの全てをぶつけて、精一杯市民の生活向上のため努めたいと思い、今日まで真摯に取り組んでまいりました。

合併問題特別委員長として、1市2町の合併に漕ぎつけ、健康福祉常任委員長

としては、0次予防コホート事業の推進が出来ました。又、神照運動公園にグラウンドゴルフ場を開設出来ました。次は地域コミュニティの場の公民館の改築、機能強化に取り組んで行きます。

数の論理が優先しがちな議会で、一党一派に偏らず、「是は是、非は非」とするスタンスは、時として誤解を招くこともあります。これからも信念を持って頑張りたいと思っています。



### 私の思い

高島支部 第22期 園芸学科  
林 喜弘

レイ大卒業後早や6年が過ぎました。還暦や古希はすでに遠い昔となって、やがて喜寿を迎える身となってきました。寿命が延びた現代では還暦や古希など珍しくなくなって喜寿あたりから老人になったような気になると言われますが、私もお陰様で今日まで大病もなく医者や病院などに余り縁がなく、薬のお世話にもなりません。このようなことから老人クラブや社協などの役職も長年勤めさせて頂くことができ、今春でようやく任期を終えさせて頂く事ができました。お世話になりました多くの方々に厚くお礼申し上げます次第です。

さて、来年4月から75歳以上の後期高齢者は、現在の国保や健保組合などの医療保険から新しい高齢者だけの医療保険制度に改変され、保険料は年金から天引きとなるようであります。ところがご承知のように現在は、国民年金や厚生年金の記録喪失問題で年金行政は大混乱となっています。年金の掛け金が誰のもの

かわからないという、宙に浮いている年金の大失政、このような不安の中、更に新しく高齢者の保険料を年金から天引きすることは到底同意できないように思われてなりません。



## 高島子ども探検隊に 同行して

高島支部 第24期 文芸学科  
富田 豊

本校の建学理念に則り、地域に於て子育て支援の一環として、子ども達のがびのがびと遊べる場づくり活動に設けられた放課後教室のスタッフとして参加し、今年で4年目になります。本年度は参加児童の増加に比し、スタッフが手薄になりますが、協力してやっています。

先日も高島子ども探検隊の室戸アドベンチャーキャンプに見守りスタッフとして参加しました。4年生以上の児童48人、スタッフ18人で4泊5日のキャンプが実施されました。一行は2台のバスに分乗し、最初に淡路島の野島断層保存館を見学、地震体験を味わい、続いて日和佐町の海亀博物館を見学、目前に海亀産卵砂浜があった。夕刻国立の室戸青少年自然の家に着。バイクで夕食の後800m離れた第2ロッジへ移動して就寝。

2日目は、48人を2班に分けて、室戸岬の岩場の探検と岬周辺の海上クルージングのスリルを体験。午後は冒険の森で、子供心を掻きたてる自然遊具で思いきり遊び、児童全員でカレーライス作りに挑戦、出来栄は上々でした。

今後とも子供達と共に楽しい日々を過ごしたいと思います。

## 視覚障害者のグラウンド・ゴルフを支援

彦根G・G所属の同窓会員ら

彦根市G・G協会(HGGA)の役員23名の中には、レイ大同窓会湖東支部の会員が8名参画しています。毎年、目の不自由な人達のグラウンド・ゴルフ大会が彦根市内で開催されますが、この大会の支援を、HGGAの役員有志が行っています。

今年も11月3日に県下一円から県立彦根盲学校グラウンドに、介助者も含めて約40名が集まって開催されました。

支援にあたるHGGAの役員は、各組に2名ずつ付き、1人はホールポストの所で鳴り物(笛、鉦、太鼓、タンバリンなど)を鳴らして方向と距離を知らせ、もう1人は競技者に付き添って、

位置やクラブの向きなど、手を添えてサポートします。HGGAが支援を始め、7～8年になりますが、参加される視覚障害の方々、明るい表情でプレーを楽しまれる様子に、喜びと感動を覚えています。(湖東支部長 野上)





〈近江八幡・中部・湖東〉

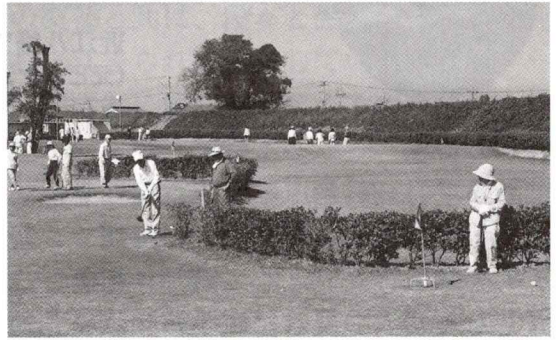
# 三支部の仲間がグラウンド・ゴルフで交流

レイカディア大学同窓会で日常仲間が集まる活動は、それぞれの支部内の行事が主体です。もう一段枠を広げて、近隣支部との交流を深めることはまた楽しく、同窓の仲間の絆も強まり、意義あることと思います。

この思いから、ことし、湖東ブロックの近江八幡、中部、湖東三支部は、今、高齢者層で最もさかんなグラウンド・ゴルフを通じて友好の輪を広げようと、11月7日に、近江八幡市の日野川G・G場に集まり、『三支部交流グラウンド・ゴルフ大会』を開催しました。

さいわい好天に恵まれ、各支部から愛好者が総勢90名参加。プレーは前半、後半と18ホールを2回、36ホールをラウンドし、かなり戦略的思考を要するコースに悲鳴をあげたり、待望のホールインワン達成で「ヤッターッ！」と歓声をあげて、大いに盛り上がりました。

普段は出会えない同窓の仲間にも再会して声を掛け合う場面もあり、初回の企画、まずは成功の感を強くしました。これからもグラウンド・ゴルフのみに止まらず、近隣支部との友好と相互啓発をめざして、



▲山ありバンカーありで、熟練者も四苦八苦

多方面で交流の機会を持つことができれば、同窓会活動の新たな魅力にもつながると考えています。

(文責：中部支部長 齋藤)

順位	氏名	支部	スコア
優勝	木村 傳平	湖 東	96
準優勝	岡谷 龍一	近江八幡	102
3位	山口 正美	近江八幡	103
4位	伊藤 壽雄	近江八幡	104
5位	岡田 定一	近江八幡	105
6位	加藤 和昭	近江八幡	106
7位	野上 雄三	湖 東	107
8位	北川 慶子	湖 東	108
9位	大西 一	近江八幡	109
10位	佐々木 豊治	湖 東	109

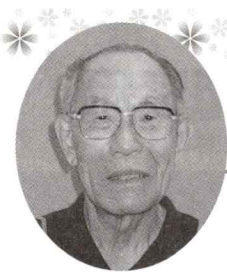
(※スコアは36ホールラウンドの結果)



▲最高齢参加の二人  
男性 小林さん(90才)  
女性 宮尾さん(89才)



▲難コースを攻略した入賞者を囲む参加の面々



# 『つわもの強兵どもの夢のあと』

(北緬に散華された英霊を追悼して)

近江八幡支部 第11期生 園芸学科 佐々木尚一  
(元ビルマ派遣 第53師団 歩兵第128連隊所属)

さる7月12日米原校にて、後期必修講座『我が生涯90年の回想』の演題で、レイ大卒業生の長老として講師に指名されました。講演の要旨は戦争体験談「悲劇の戦場ビルマ」。生かされている命の尊さと共に語り合う平和への願いを主題に約2時間を熱演しました。

## 戦友の血で染まったビルマ戦線

大正一桁生まれの私達は、二度と経験する事のない人生で最も華やかな青春時代を、戦争と言う苛酷な運命に命を捧げて勇躍征途につき、南方戦線の拡大と共にビルマに進攻しました。緒戦においては、英印軍の熾烈な攻撃を突破して輝かしい戦果を挙げたが、インパール作戦の敗戦に伴い、北緬の戦況は最悪の状態となり、さらに敵の新鋭戦力による反撃進攻と制空下に、劣勢な装備と苛酷な気象に補給の途絶が重なり、悪戦苦闘の連続も空しく、全戦局は好転せず敗色は漸次濃厚となり、転戦による死闘を尽くすも猛爆撃に倒れ、あるものは飢えと悪疫に力尽き、戦友の尊い生命はビルマの山野を紅に染め、再び帰り来ず護国の鬼と化し、悲惨な北緬の戦場に散華されました。

更に戦局は敗戦の連続で好転せず、玉砕か全面降伏の余儀なきに至り、遂に終戦を迎える事になりました。「散る桜残る

桜も散る桜」と共に生死を誓い遭った在りし日の英霊の勇姿を追憶して、感慨無量、萬感胸に迫り断腸の思いを新たにしております。

## 祖国復興につれて戦跡慰霊、遺骨収集始まる

ビルマの各戦線での死闘の連続から、奇跡的にも命を長らえたものの、なお敗戦の憂き目を負い、祖国の状況が判らぬままに捕虜となり抑留生活を余儀なくされました。

2年有余の捕虜生活の折りにも、祖国からあの「リンゴの唄」の軽快な歌声が聞こえて来て、感涙しながら故郷を懐かしみました。やっと復員船が、我々を最後に引き上げてやって来ました。4年間の数々の悲惨な思い出を残してラングーンの港を離れる時、金色のシェダゴンパコダが夕映えに輝いて、「さらばビルマよ、永遠に幸あれ」、各地の戦場で化神となり散華された戦友の英魂よ安かれと、去り行く船上から追悼した感激が今も脳裏から離れません。

当時としては、再びこの地を訪れる機会など夢にも望みを持ってませんでした。ただ、一刻も早く祖国へ帰りたい、故郷が家族が恋しい望郷の念だけでしたが、復員してから数年後、祖国も我々の懸命の努力で復興も著しく進み、経済的にも



幾らか豊かになり、生活にも安定が感じられるようになると、生存者達で慰霊祭を兼ねて戦友会を開くようになりました。毎年の如く、我々には一番華やかなりし青春を掛けた命懸けの各地の戦闘の回顧談を思い出しては、繰り返し話し合っておりまして。

また、ビルマ方面での遺骨収集が開始され、戦友たちの遺骨もようやく祖国に帰還することになり、懐かしいビルマ各地へ戦跡慰霊の顕彰に訪れる機会も多くなり、ビルマへの郷愁がやっと蘇り、大きな忘れ物を取り戻した様な感激でした。

### 激戦回顧録「鎮魂」をつづる

さらに、数次の戦跡の慰霊で、最も激戦の思い出の深い悲劇の戦場でもあったモーハンに連隊の慰霊碑の建立が計画され、ご当地の集落住民の温かい協力のお陰で、平成9年3月に30余名の慰霊団が結成され、慰霊碑の顕彰除幕式を奉修しました。やっと戦没された英霊の永遠の眠りに安住の地を得られた事に、痛恨と共に追悼の誠が通じたものと感激を深くしました。毎年慰霊団の慰問が続けられ、集落の方達の奉仕によって、建設当時のコンクリ塀と慰霊碑だけの閑散とした聖域が、周囲に生け垣が張り巡らされて、火炎樹（ブーゲンビレア、セックパン）が香り高く聖地一面に咲き乱れ、南国の霊域にふさわしい面影を残している様相に、英霊の顕彰と共に感慨無量の思いがいたします。

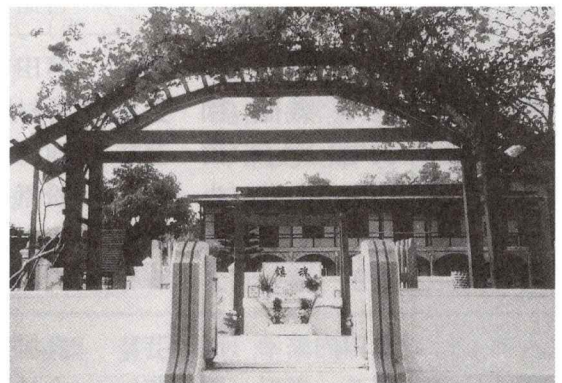
「ジャワの極楽、地獄のビルマ」、悲劇の戦場と言われた武器弾薬も糧秣の補給も全くなく、最悪の状況下での悲惨なビルマ戦域で、敗退と転進と玉砕命令の死

闘の繰り返しで、奇跡的に強運に幸いされて今日まで命を長らえた老兵達の敗戦記憶が、戦後60余年を迎えた現在、戦争体験者の高齢化と戦争を知らない世代との交替と共に、段々と激戦の様相が風化し忘れ去られようとしています。

部隊毎に戦記を編集するなど、我々の連隊でも戦友会が主になり、悲惨な戦闘詳報を、英霊の鎮魂を兼ねた従軍の回想録として戦記を刊行されました。

この度「128ビルマ会」で特に現存する戦友達と遺族の方達の発起で、戦後60周年を契機として、既に出版されている戦争体験記に重複しない色々の思い出話や裏話等の原稿を各自が持ち寄り、回想録として取り纏め「鎮魂」を顕彰の標題にして編集される事になって、夢の様な構想が実現して大きな感動を受けております。

あと数年も経過すれば現存する戦友達も、英霊が待ち侘びる幽冥の彼方に旅立つ日の遠からずと思われれます。亡き戦友達にも、英知を結集した鎮魂に相応しい集大成の戦記を刊行して、戦後60周年の慰霊祭のご霊前にお供えできた事を欣快に存じます。



モーハン駅近くの128ビルマ会の  
慰霊顕彰碑（鎮魂）



# 平成19年度 本 部 役 員



《滋賀県レイカディア大学同窓会》

役 職	氏 名	電話番号	備 考	
会 長	奥 村 常治郎		草津・栗東支部顧問	
副 会 長	岩 井 典 弘		総務部長兼務／守山・野洲支部顧問	
	戸之洞 貞 夫		会計兼務	
事務局長	池 田 邦 治			
常任理事	岡 崎 一 郎		研修副部長／大津支部長	
	三 上 善 弘		研修部長／草津・栗東支部長	
	小 林 仁 司		総務部／会計補佐／守山・野洲支部長	
	松 本 秀 一		広報副部長／甲賀支部長	
	木 村 茂 治		広報副部長／近江八幡支部長	
	齋 藤 吉太郎		広報部長／中部支部長	
	野 上 雄 三		研修部／湖東支部長	
	戸之洞 貞 夫		広報部／湖北支部長	
	池 田 邦 治		高島支部長	
	理 事	小 田 悟 男		広報部／大津支部
齋 藤 治 子			総務部／大津支部	
西 田 太治郎			総務副部長／草津・栗東副支部長	
宇 野 愛 子			広報部／草津・栗東副支部長	
鳥 居 義 樹			研修部／守山・野洲副支部長	
黒 田 玲 子			広報部／守山・野洲副支部長	
小 林 和 雄			総務部／甲賀副支部長	
前 出 慶 子			研修部／甲賀副支部長	
岡 田 定 一			研修部／近江八幡副支部長	
園 田 花 子			総務部／近江八幡副支部長	
大久保 忠 彦			総務部／中部副支部長	
柚 木 幸 雄			研修部／中部副支部長	
若 松 實			総務部／湖東副支部長	
金 子 良 一			広報部／湖東副支部長	
斎 田 美悠紀			研修部／湖北副支部長	
福 本 扶左男			総務部／湖北副支部長	
磯 部 健 三			総務部／高島副支部長	
八 田 キヨミ			広報部／高島副支部長	
監 事		城 宏 衛		甲賀支部
		清 水 敏 夫		甲賀支部
顧 問	門 馬 三 郎		大津支部顧問	



## 編集後記

広報部長 中部支部（20期・生活学科） 齋藤吉太郎

60有余にして、わが道を探り学を志した同窓諸氏の心意気には、2千名の仲間を鼓舞させるものがあると考え、今号の特集を企画しました。寄稿いただいた24編は、意に違わずそれぞれが読む人の心を打ち、感動を与える文面です。

50年、80年と続くであろうレイカディア大学同窓会の流れの中で、拙いながらも歴史、記録を書き留める作業に係われたことに誇りを感じています。

大津支部（19期・文芸学科） 小田 悟男

25周年記念特集『私の一言』の編集に参画出来たのはラッキーでした。会員皆様のご協力に心から感謝しています。今年9月に万里の長城へ、10月には大津祭の曳山ボランティアに参加しました。



草津・栗東支部（17期・文芸学科） 宇野 愛子

皆さま方の生活のご様子やお考えのこと、実践されていること等、自分流に表現されていて、うなずきながら、読ませて頂きました。お互いの生き方の参考にしたいものです。

守山・野洲支部（22期・スポレク学科） 黒田 玲子

あわただしい一年も、もうすぐ終わりを告げます。レイ大卒業後、疎遠になっていた方々の近況も會報作成中にわかったり、また現在の様子を少しでも皆様にお知らせしたい、と思いながらお手伝いが出来ました。

甲賀支部（20期・文芸学科） 松本 秀一

例年になく暑い夏でしたが、様々な人生観や体験、境遇などの玉稿に接することが出来ました。部員の皆さんは暑さも忘れ校正作業を行い、予定通り編集を終える事が出来ました。

近江八幡支部（19期・園芸学科） 木村 茂治

今年も長老皆様の卓越した文章や文字に接し、広報部冥利に尽きる思いしきり。校正作業をしながら、支部の情報、本音等、聞いたり言ったり、時間の経つ早さを実感しました。

湖東支部（21期・文芸学科） 金子 良一

広辞苑の改訂が10年ぶりに行われるそう。IT社会を反映されたものや、若者言葉も採用されているらしい。世代の異なった会員投稿の中の用語や、漢字の理解に苦慮しているのに、ますます複雑になりそう。

湖北支部（20期・生活学科） 戸之洞貞夫

最近の原稿は、そのほとんどがパソコンやワープロで入力されたものが多い。意図しない漢字に変換されるミスもあり、辞書を片手に編集子も汗だくで大忙し。

高島支部（19期・文芸学科） 八田キヨミ

レイ大の二年間、今後の生き方を決める有意義な日々でした。会誌編集に携わり地域で活躍される皆様に敬意を表すと共に、この会の益々の発展を願って後記とします。

**滋賀県レイカディア大学同窓会**

**『會報』 24号**

発行：平成 19 年 12 月 15 日

編集：滋賀県レイカディア大学同窓会  
同窓会事務局  
〒525-0072

草津市笠山七丁目 8-138  
(滋賀県レイカディア大学本部)

印刷：大津紙業写真印刷株式会社



